

豊川市環境基本計画

環境行動都市とよかわ
～次世代に誇れるまちをつくろう～

実施計画

(平成22年度～平成26年度)

平成26年度実績報告



豊川市環境部環境課

環境目標① エネルギーを大切にしよう

<取組1 省エネルギーの推進>

○地球温暖化対策地域推進計画の策定

【地球温暖化対策地域推進計画の策定】※重点施策1-1

環境部環境課

予算科目	一般会計			全体実施期間		平成22年度～	
事業の概要	温室効果ガス排出抑制を目的に、地球温暖化対策地域推進計画を策定する。						
目標指標	過去値（H19）		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
市域からの温室効果ガス排出量（家庭部門）	216,546t-CO ₂		212,000 (t-CO ₂)	210,000 (t-CO ₂)	208,000 (t-CO ₂)	206,500 (t-CO ₂)	205,000 (t-CO ₂)
<実績>			217,094 (t-CO ₂)	211,320 (t-CO ₂)	209,081 (t-CO ₂)	205,132 (t-CO ₂)	195,297 (t-CO ₂)
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
計画策定	－	検討	策定	推進			
<実績>	－	検討	検討	検討	検討	策定	
22年度成果・課題	地域推進計画の内容等について研究した。						
23年度成果・課題	環境基本計画の中間見直し時である26年度に計画を策定し、27年度から推進するため、内容等について研究した。						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	平成27年3月に地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定した。						

○公共施設環境率先行動計画（市役所地球温暖化対策実行計画）の推進

【市役所地球温暖化対策実行計画推進事業】

環境部環境課

予算科目	一般会計			全体実施期間			—
事業の概要	公共施設環境率先行動計画の見直し、ガイドブック作成、研修、進行管理						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
計画見直し・ガイドブック作成	式	1	—	—	—	—	—
<実績>	式	1	—	—	—	1	—
職員研修	回	1	1	1	1	1	—
<実績>	回	1	3	1	1	1	—
22年度成果・課題	5年間で、温室効果ガス排出量を5%削減する実行計画を策定し、個々の職員が率先して取組むべき行動を「豊川市エコ・アクション」と位置づけ、職員ガイドブックを作成した。さらに、各課の推進員等を対象に、職員研修を実施した(参加者67名)。						
23年度成果・課題	行動計画に基づき、進行管理を行った。また、推進員等を対象にした職員研修(参加者64名)の他、緊急節電対策として2回の説明会を実施した。						
24年度成果・課題	行動計画に基づき、進行管理を行った。 また、推進員等を対象にした職員研修(参加者55名)を実施した。						
25年度成果・課題	行動計画に基づき、進行管理を行った。 また、推進員等を対象にした職員研修(参加者56名)を実施した。						
26年度成果・課題	行動計画に基づき、進行管理を行った。 また、推進員等を対象にした職員研修(参加者44名)を実施した。 平成27年度から平成32年度までの6年間を計画期間とした「第2次豊川市役所地球温暖化対策実行計画【豊川市公共施設環境率先行動計画】」を策定した。						

【緑のカーテンの普及・啓発事業】※重点施策1-4

環境部環境課

予算科目	一般会計 4-1-10-60			全体実施期間		平成22年度～平成26年度	
事業の概要	市内小中学校等に緑のカーテンを設置するとともに、コンテストを実施する。						
目標指標	過去値 (H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
設置箇所数	—		13箇所	43箇所	46箇所	49箇所	50箇所
<実績>			13箇所	44箇所	56箇所	64箇所	60箇所
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
公共施設設置	式	1	1	1	1	1	—
<実績>	式	1	1	1	1	1	—
コンテスト実施	式	—	1	1	1	1	—
<実績>	式	—	1	1	1	1	—
22年度成果・課題	13小学校に緑のカーテン(アサガオ・ゴーヤ)を設置。今後は、小学校だけでなく他の公共施設に設置するとともに、市民や企業等にも啓発を図る必要がある。						
23年度成果・課題	17保育園、16小学校、その他11の公共施設に緑のカーテンを設置。また、コンテストを実施し、市民や企業等に啓発を図った。						
24年度成果・課題	24保育園、21小中学校、11公共施設に緑のカーテンを設置。また、コンテストを実施し、市民や企業等に啓発を図った。						
25年度成果・課題	23保育園、25小中学校、16公共施設に緑のカーテンを設置。また、コンテストを実施し、市民や企業等に啓発を図った。						
26年度成果・課題	23保育園、21小中学校、16公共施設に緑のカーテンを設置。また、コンテストを実施し、市民や企業等に啓発を図った。						

○省エネルギーの啓発

【環境家計簿普及事業】※重点施策1-4

環境部環境課

予算科目	一般会計 4-1-10-60		全体実施期間		平成21年度～平成26年度		
事業の概要	環境家計簿を作成し小学生等を対象とした出前講座等で普及・啓発を図る。						
目標指標	過去値 (H21)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
実践者数	—	—	50人	100人	150人	200人	
<実績>		—	2,087人	2,332人	2,136人	2,032人	
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
環境家計簿作成	部	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	—
<実績>	部	2,000	3,000	2,500	2,200	2,200	—
WEB版作成	式	1	1	1	1	1	—
<実績>	式	1	1	1	1	1	—
出前講座	回	—	5	5	5	5	—
<実績>	回	—	13	12	8	11	—
22年度成果・課題	教育委員会と協力して、小学5年生を対象とした「エコ・チャレンジカレンダー」を作成・配布した。今後は、小学生以外の年代にも普及啓発を図る必要がある。						
23年度成果・課題	教育委員会と協力して、小学5年生を対象とした「エコ・チャレンジカレンダー」を作成・配布した。また、希望する市民にも配布した。この他、出前講座（児童クラブ13回）を実施し、普及啓発を図った。今後は、小学生以外の年代にも普及啓発を図る必要がある。						
24年度成果・課題	教育委員会と協力して、小学5年生を対象とした「エコ・チャレンジカレンダー」を作成・配布した。この他、出前講座（児童クラブ11回、小学校1回）を実施し、普及啓発を図った。今後は、小学生以外の年代にも普及啓発を図る必要がある。						
25年度成果・課題	教育委員会と協力して、小学5年生を対象とした「エコ・チャレンジカレンダー」を作成・配布した。この他、出前講座（児童クラブ7回、小学校1回）を実施し、普及啓発を図った。今後は、小学生以外の年代にも普及啓発を図る必要がある。						
26年度成果・課題	教育委員会と協力して、小学5年生を対象とした「エコ・チャレンジカレンダー」を作成・配布した。この他、出前講座（児童クラブ11回）を実施し、普及啓発を図った。今後は、小学生以外の年代にも普及啓発を図る必要がある。						

【クールアース・デーの普及啓発事業】

環境部環境課

予算科目	一般会計 4-1-10-60			全体実施期間		平成21年度～平成26年度	
事業の概要	7/7公共施設や企業・市民にライトダウン呼びかけ。啓発講座の実施						
目標指標	過去値 (H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
協力企業数	—		5社	6社	7社	8社	10社
＜実績＞			5社	30社	31社	39社	24社
講座参加者数	—		—	20人	20人	20人	20人
＜実績＞			—	183人	148人	27人	14人
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
広報等に記事掲載	式	1	1	1	1	1	—
＜実績＞	式	1	1	1	1	1	—
企業へ協力依頼	式	1	1	1	1	1	—
＜実績＞	式	1	1	1	1	1	—
啓発講座の実施	回	—	1	1	1	1	—
＜実績＞	回	—	3	2	1	1	—
22年度成果・課題	クールアース・デーの概念自体を普及させることが課題						
23年度成果・課題	普及啓発事業として、廃食油でエコキャンドルを作る講座（96名）やプラネタリウムを利用したイベント（87名）を開催した。						
24年度成果・課題	普及啓発事業として、廃食油でエコキャンドルを作る講座（30名）やプラネタリウムを利用したイベント（118名）を開催した。						
25年度成果・課題	普及啓発事業として、廃食油でエコキャンドルを作る講座（27名）を開催した。						
26年度成果・課題	普及啓発事業として、廃食油でエコキャンドルを作る講座（14名）を開催した。						

【食育推進事業】再掲P. 26

＜取組２ 新エネルギーの推進＞

○公共施設におけるエネルギーの有効活用

【公共施設における太陽光発電システムの導入】

各課

予算科目	一般会計		全体実施期間				平成11年度～
事業の概要	公共施設の新築・増改築時に太陽光発電システムを設置する。						
目標指標	過去値(H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
設置施設数	2箇所		7箇所	7箇所	7箇所	9箇所	10箇所
<実績>			8箇所	8箇所	11箇所	12箇所	14箇所
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
小学校設置	校	6	—	—	1	1	—
<実績>	校	6	—	1	—	1	—
新市民病院設置	式	—	—	—	1	—	—
<実績>	式	—	—	1	—	—	—
22年度成果・課題	22年度に6小学校に設置した。今後の課題としては、改築する校舎・体育館へ順次整備していくため、各学校の状況に応じた効果的な設置方法(設置場所・向き等)を検討する必要がある。						
23年度成果・課題	22年度に設置した小学校6基については、防災機能の付加価値として停電時の自立運転機能が設置されていないため、今後、同機能を整備する必要がある。(平成24.2.17付け文部科学省通知による)						
24年度成果・課題	市役所北庁舎、消防署南分署及び小坂井東小学校屋内運動場に太陽光発電システムを設置した。また、新市民病院平面駐車場内照明の一部にソーラーライト(街路灯)を採用し、設置工事を行った。平成22年度に小学校へ設置した太陽光発電システムは自立運転機能がないため、校舎等の改築又は大規模改修に併せて整備を実施する。						
25年度成果・課題	南部学校給食センターに太陽光発電システムを設置した。今後も公共施設の新築や増改築に併せて設置していく。						
26年度成果・課題	桜ヶ丘ミュージアム、八南小学校(増築棟)に太陽光発電システムを設置した。今後も公共施設の新築や増改築に併せて設置していく。平成22年度に小学校へ設置した太陽光発電システムは自立運転機能がないため、校舎等の改築又は大規模改修に併せて整備を実施する。市民病院のソーラーライトについて、設置後5年(平成29年度)でバッテリー交換が必要となり、費用が発生する。						

【蒸気式発電機導入事業】

環境部清掃事業課

予算科目	一般会計 4-2-3-010		全体実施期間			平成22年度	
事業の概要	清掃工場ごみ焼却炉から発生する蒸気の有効利用を図る。						
目標指標	過去値 (H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
発電電力量	—		145,728 kW/年	874,368 kW/年	874,368 kW/年	874,368 kW/年	874,368 kW/年
<実績>			218,302 kW/年	1,041,847 kW/年	972,653 kW/年	1,003,721 kW/年	990,267 kW/年
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
設置工事	式	1	—	—	—	—	1
<実績>	式	1	—	—	—	—	1
22年度成果・課題	蒸気式発電機設置、平成23年1月17日より稼働。						
23年度成果・課題	平成23年1月に蒸気式発電機を設置したことにより、電気料の大幅削減となった。						
24年度成果・課題	1か月程度発電機が故障したため、前年度と比較して、電気量・料金ともに削減にはならなかった。						
25年度成果・課題	導入時の発電量を維持できている。						
26年度成果・課題	突発的な設備機器の故障から運転日数の減少により、前年度比13,454kw減少した。						

○新エネルギーシステムの普及促進

【住宅用太陽光発電システム設置費補助】※重点施策1-2

環境部環境課

予算科目	一般会計 4-1-10-100		全体実施期間		平成12年度～平成16年度 平成21年度～平成27年度		
事業の概要	住宅用太陽光発電システム設置に対し2万円/kWで上限4kWの補助をする。						
目標指標	過去値 (H21)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
設置基数の累計	926基	1,200基	1,450基	1,700基	1,950基	2,200基	
<実績>		1,266基	1,833基	2,623基	3,638基	4,501基	
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
設置補助	基	192	250	250	250	250	2,400
<実績>	基	270	273	644	425	208	2,012
22年度成果・課題	設置件数は増加傾向にあり、予算対応や制度見直しが課題						
23年度成果・課題	同上						
24年度成果・課題	当初予算400件分が7月末で終了となり、9月補正で200件分を追加した。設置件数は電力の買取価格や国、県の施策の影響が大きいため、予算対応や制度の見直しが必要となることが考えられる。						
25年度成果・課題	平成24年度及び平成25年度に計画を前倒して補助を実施した。国や県の動向を見据え、補助率を始め補助対象など制度の見直しが必要。						
26年度成果・課題	平成24年度及び平成25年度に計画を前倒して補助を実施したので、平成26年度からは、設置補助の予定件数を200件分とした。国の補助がなくなり、県の補助も減額となった。また、固定価格買取制度の買取価格も年々減額となっている。他市の動向を見据え、補助率を始め補助対象など制度の見直しが必要。						

【風力発電システムの情報収集・研究】※重点施策1-2

環境部環境課

予算科目	一般会計			全体実施期間		平成22年度～平成26年度	
事業の概要	風力発電システムについて情報収集と研究を行う。						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
調査・研究	式	1	1	1	1	1	—
<実績>	式	1	1	1	1	1	—
22年度成果・課題	風力発電については、国が低周波等の発生についてガイドライン等を示しておらず、公害となりうるため、クリーンエネルギーとして積極的に取り組むことが困難である。						
23年度成果・課題	同上						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	同上						

環境目標② 車の使い方を考えよう
 <取組3 自動車使用頻度削減などの推進>

○交通システムの整備

【都市計画道路改良事業】

建設部道路建設課

予算科目	一般会計			全体実施期間		平成11年度～平成29年度	
事業の概要	道路改良・拡幅等の道路整備を行い、渋滞緩和を図る。						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
蔵子線整備	式	1	1	1	—	—	726m
<実績>	m	水路付替	703	22	—	—	726m
上宿樽井線整備	式	1	1	1	1	1	581m
<実績>	m	用地買収	物件補償	用地補償拡幅	用地、補償、工事	用地	—
御津為当線整備	式	—	1	1	1	1	157m
<実績>	m	—	用地、工事	用地	—	—	—
松本入浜線整備	式	—	1	1	1	1	334m
<実績>	m	—	用地、補償	—	設計業務委託	用地	—
22年度成果・課題	蔵子線については水路付け替え工事、上宿樽井については用地買収等を実施した。						
23年度成果・課題	蔵子線本線箇所については整備完了したが、24年度関連工事を実施。上宿樽井線については物件補償。御津為当線については用地買収と一部工事。松本入浜線については用地買収、物件補償を実施した。						
24年度成果・課題	蔵子線については関連工事を実施し整備完了。上宿樽井線については物件補償と393mの拡幅工事を実施。御津為当線については用地買収を実施。						
25年度成果・課題	上宿樽井線は、用地買収・物件補償と198mの改良工事を実施。松本入浜線については、設計測量業務を行った。						
26年度成果・課題	上宿樽井線及び松本入浜線について、用地買収を実施。						

【交差点改良事業】

建設部道路建設課

予算科目	一般会計 8-2-2-170、190			全体実施期間		平成21年度～平成25年度	
事業の概要	交差点改良工事を行い、渋滞緩和を図る。						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
音羽支所前交差点改良	式	—	1	1	1	—	100m
<実績>	m	—	設計業務委託	用地測量	—	—	0m
野口平尾線拡幅改良	式	1	1	1	—	—	150m
<実績>	m	設計委託	用地、補償	174	—	—	174m
22年度成果・課題	野口平尾線については測量設計委託業務を行った。						
23年度成果・課題	音羽支所前交差点は設計業務委託を、野口平尾線については用地買収、物件補償を実施した。						
24年度成果・課題	音羽支所前交差点については用地測量を実施した。野口平尾線拡幅改良については174mの整備を行い完了。						
25年度成果・課題	音羽支所前交差点は、関係地権者の理解が得られず事業中止。						
26年度成果・課題							

【公共交通機関へのアクセス整備事業（バリアフリー化）】							建設部都市計画課
予算科目	一般会計 8-5-1			全体実施期間		平成22年度～平成25年度	
事業の概要	名鉄・ＪＲ駅及び駅周辺のバリアフリー化を図る。						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
愛知御津駅周辺整備	式	—	—	—	1	—	—
<実績>	式	—	—	—	—	1	—
名鉄八幡駅周辺整備	式	1	1	1	—	—	—
<実績>	式	1	1	1	—	—	—
22年度成果・課題	高齢者、障害者や学識経験者等で構成されるバリアフリー基本構想策定協議会を設置し、豊川市バリアフリー基本構想を策定した。基本構想で八幡駅周辺地区を重点整備地区に位置づけ、特定事業を定めた。						
23年度成果・課題	・八幡駅トイレの実施設計を行った。 ・今後の整備方針となる道路特定事業計画を作成した。 ・愛知御津駅周辺整備については、23年度に削除となったため記載抹消。						
24年度成果・課題	・八幡駅駅前広場トイレの整備及び八幡駅のバリアフリー化(EV設置、ホーム嵩上げ等)を実施し、事業を完了した。 ・愛知御津駅周辺整備については、平成26年度実施計画事業として再度提出している。						
25年度成果・課題	・愛知御津駅周辺整備について検討し、「愛知御津駅周辺まちづくり検討業務」を平成26年度に実施するための予算を計上した。						
26年度成果・課題	・愛知御津駅周辺まちづくり検討業務を発注し、当該駅における鉄道駅の利便性向上、バリアフリー化及び駅前広場を含むまちづくりについて検討を行った。						

【豊川北部線バス運行関連事業】					市民部人権交通防犯課		
予算科目	一般会計 2-1-14-160		全体実施期間		平成8年度～平成23年度		
事業の概要	豊川北部線バス運行関連事業						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
事業者への補助	式	1	1	—	—	—	2
<実績>	千円	16,297	18,138	—	—	—	34,435
22年度成果・課題	豊川北部地域にある市の施設の利用者と、当該地区住民の交通の利便性の向上が図られた。利用者数25,680名						
23年度成果・課題	利用者数25,780名。平成23年10月廃止。						
24年度成果・課題							
25年度成果・課題							
26年度成果・課題							

【コミュニティバス運行事業】				市民部人権交通防犯課			
予算科目	一般会計 2-1-14-180		全体実施期間		平成19年度～平成23年度		
事業の概要	音羽地区コミュニティバスの運行経費負担金						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
事業者への負担金	式	1	1	—	—	—	2
<実績>	千円	15,388	8,933	—	—	—	24,321
22年度成果・課題	交通空白地区等の日常の移動手段が確保された。利用者数16,517名						
23年度成果・課題	利用者数9,760名 平成23年10月廃止						
24年度成果・課題							
25年度成果・課題							
26年度成果・課題							

【福祉乗合タクシー運行事業】				市民部人権交通防犯課			
予算科目	一般会計 2-1-14-210			全体実施期間		平成19年度～平成23年度	
事業の概要	御津地区コミュニティバスの運行経費負担金						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
事業者への負担金	式	1	1	－	－	－	2
<実績>	千円	7,458	4,361	－	－	－	11,819
22年度成果・課題	交通空白地区等の日常の移動手段が確保された。利用者数3,156名						
23年度成果・課題	利用者数1,829名 平成23年10月廃止						
24年度成果・課題							
25年度成果・課題							
26年度成果・課題							

○公共交通機関利用の促進（公共交通基本計画の策定）

【公共交通機関等利用促進事業】※重点施策1-3

市民部人権交通防犯課

予算科目	一般会計 2-1-14-190		全体実施期間			平成20年度～	
事業の概要	市全域における公共交通計画の策定・実施						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
地域公共交通会議開催	回	4	4	4	4	4	—
<実績>	回	4	4	4	4	4	—
実証実験運行（基幹路線）	路線	—	6	6	6	6	—
<実績（利用者数）>	人	—	17,999	47,265	52,566	57,399	—
実証実験運行（地域路線）	路線	—	3	4	4	4	—
<実績（利用者数）>	人	—	11,658	23,487	24,682	25,560	—
基礎調査	式	1	—	—	—	—	—
<実績>	式	1	—	—	—	—	—
運行計画策定	式	1	—	—	—	—	—
<実績>	式	1	—	—	—	—	—
22年度成果・課題	平成23年3月に「豊川市地域公共交通総合連携計画」策定。						
23年度成果・課題	平成23年11月から豊川市コミュニティバスの運行を開始。						
24年度成果・課題	平成24年10月から新たに地域路線1路線の運行を開始。						
25年度成果・課題	平成25年5月から市民病院に新たに4路線経由。						
26年度成果・課題	平成25年度末にて実証実験運行を終了。引き続き、平成26年度から基幹路線6路線、地域路線4路線の10路線により本格運行。 年々、利用者数は増加しているが、さらに多くの方がより利用しやすい公共交通となるように、適宜、路線の見直しを行いつつ利用の促進を図る。						

○自転車利用の促進

【市道拡幅改良事業】

建設部道路建設課

予算科目	一般会計 8-2-2			全体実施期間		平成18年度～	
事業の概要	市道の拡幅改良工事・歩道設置工事を行い、車道と歩道を分離する。						
目標指標	過去値 (H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
歩道設置率	6.1%		6.2%	—	—	—	—
<実績>			6.2%	6.3%	6.3%	6.6%	6.6%
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
上金居場天神線	式	1	1	—	—	—	300m
<実績>	m	93	122	80	—	—	300m
穂ノ原六角線	式	1	1	1	1	—	650m
<実績>	m	用地買収・補償	踏切拡幅	歩道設置・道路改良	歩道設置・道路改良	—	645m
紅里東裏線	式	1	1	1	1	1	128m
<実績>	m	26	32	—	土地評価	用地、工事	128m
下佐脇上佐脇 1 号線	式	1	1	—	—	—	770m
<実績>	m	84	H 2 2 年度完了	—	—	—	770m
穂ノ原六角線 (2)	式	1	1	—	1	1	190m
<実績>	m	地元説明	用地測量委託	—	土地評価	用地	—
伊奈鳥川線	式	1	1	1	—	—	470m
<実績>	m	実施設計	245	410	—	—	470m
代田八幡線	式	1	1	1	—	—	1,070m
<実績>	m	用地買収・補償	カー舗装 測量設計業務	269	—	—	1,070m
野路鐘鋳場線	式	—	1	1	—	—	230m
<実績>	m	—	測量設計業務	148	—	—	230m
篠束野口線	式	—	1	1	—	—	290m
<実績>	m	—	290	596	—	—	290m
22年度成果・課題	上金居場天神線については93mの歩道整備、穂ノ原六角線については用地買収・補償、紅里東裏線については橋梁整備、下佐脇上佐脇1号線は、整備完了、穂ノ原六角線(2)については地元説明、伊奈鳥川線は実施設計、代田八幡線は用地買収・補償を行った。						
23年度成果・課題	上金居場天神線については122mの整備、穂ノ原六角線については踏切拡幅、紅里東裏線については32mの整備、穂ノ原六角線(2)については用地測量委託、伊奈鳥川線は245mの整備、代田八幡線はカー舗装及び測量設計業務、野路鐘鋳場線については測量設計業務、篠束野口線については290mの整備を行った。						
24年度成果・課題	上金居場天神線については80mの整備で完了、穂ノ原六角線は645mについて2ヵ年度工事としてH24年度発注、伊奈鳥川線については410mの整備で完了、代田八幡線については269mの整備で完了、野路鐘鋳場線については148mの整備で完了、篠束野口線については596mの整備を行い完了。						
25年度成果・課題	穂ノ原六角線は645m完成。紅里東裏線・穂ノ原六角線(2)は土地評価を行った。						
26年度成果・課題	紅里東裏線は128m(一部暫定)完成。穂ノ原六角線(2)は用地買収を実施。						

【人道橋整備事業】

建設部道路建設課

【大田橋整備事業】	一般会計 8-2-2-020		全体実施期間		平成21年度～平成24年度		
事業の概要	人道橋設置工事を行う。						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
念仏橋人道橋設置	式	—	1	1	—	—	—
<実績>	式	—	橋台工	上部工	—	—	—
野路橋人道橋設置	式	—	1	1	—	—	—
<実績>	式	—	橋台工	上部工	—	—	—
22年度成果・課題							
23年度成果・課題	念仏橋、野路橋人道橋の橋台工を実施した。						
24年度成果・課題	念仏橋、野路橋人道橋の上部工工事を実施し整備完了。						
25年度成果・課題							
26年度成果・課題							

【市内道路改良事業】

建設部道路建設課

予算科目	一般会計 8-2-2-170			全体実施期間		平成20年度～	
事業の概要	バリアフリーを意識した道路改良						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
道路拡幅・改良工事	m	750	500	1,000	1,000	1,000	—
<実績>	m	750	1,240	150	510	1,190	—
道路改良工事	m	4,400	2,700	6,000	6,000	6,000	—
<実績>	m	5,800	1,890	2,890	4,200	5,970	—
22年度成果・課題	道路改良工事を実施した。						
23年度成果・課題	新市民病院周辺の道路整備、及び市内の道路改良工事を実施した。						
24年度成果・課題	新市民病院周辺の道路整備を完了した。また市内の道路改良工事を実施した。						
25年度成果・課題	市内全域における整備水準格差を是正するために道路改良工事を実施した。						
26年度成果・課題	市内全域における整備水準格差を是正するために道路改良工事を実施した。						

【公用自転車の整備】

総務部管財契約課

予算科目	一般会計 2-1-7-030			全体実施期間		平成20年度～	
事業の概要	公用自転車の整備、電動アシスト自転車の導入						
目標指標	過去値 (H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
公用自転車台数	5台		5台	5台	10台	10台	10台
＜実績＞			5台	5台	7台	7台	7台
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
電動アシスト自転車の導入	台	－	－	5	－	－	5
＜実績＞	台	－	－	－	－	－	－
22年度成果・課題							
23年度成果・課題							
24年度成果・課題	人権交通防犯課で不用となった3人乗り自転車2台を公用自転車として追加配備した。電動アシスト自転車は、導入するにあたり、必要性に応じた予算の確保が今後の課題である。						
25年度成果・課題	公用自転車（電動アシスト）の導入及び増台は、必要性に応じた予算の確保が課題であるが、見直しの検討もしていく必要がある。						
26年度成果・課題	公用自転車（電動アシスト）の導入及び増台は、必要性に応じた予算の確保が課題であるが、見直しの検討もしていく必要がある。						

<取組4 エコカー・エコドライブの推進>

○エコカー・エコドライブの推進

【低公害車購入】※重点施策1-3

総務部管財契約課・各課

予算科目	一般会計		全体実施期間				平成22年度～
事業の概要	公用車として低燃費かつ低排出ガス認定車や電気自動車等の低公害車を購入。						
目標指標	過去値 (H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
公用車における低公害車の割合	46.7%		50.0%	53.0%	56.0%	59.0%	62.0%
<実績>			54.8%	57.1%	58.2%	62.7%	65.3%
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
低燃費かつ低排出ガス認定車等購入	台	—	5	10	10	10	35
<実績>	台	21	9	15	17	18	80
22年度成果・課題	消防車6台、管財契約課4台、水道業務・整備課2台、介護高齢課2台、図書館1台、農務課1台、地域振興課1台、公園緑地課(赤塚山公園)1台、清掃事業課3台(うちハイブリッドのパッカー車2台)を購入した。今後は、電気自動車を導入していきたい。						
23年度成果・課題	消防車2台、介護高齢課3台、清掃事業車2台、農務課1台、環境課1台を購入した。今後は、電気自動車を導入していきたい。						
24年度成果・課題	消防車2台、軽自動車11台(介護高齢課1台、保健センター1台、文化振興課1台、道路維持課1台、下水管理課1台、人権交通防犯課1台、清掃事業課2台、教育委員会庶務課3台)、ハイブリッド車1台(市民病院)、電気自動車1台(環境課)を導入した。今後も電気自動車の導入を推進していくことが課題である。						
25年度成果・課題	消防車1台、救急車3台、パッカー車1台、普通自動車1台(水道業務・整備課)、軽自動車11台(介護高齢課4台、保健センター1台、農務課1台、清掃事業課1台、水道業務・整備課2台、消防本部1台、小坂井支所1台)を購入した。今後も電気自動車の導入を推進していくことが課題である。						
26年度成果・課題	消防車4台、普通自動車2台(管財契約課1台、福祉課1台)、軽自動車12台(水道業務・整備課2台、福祉課1台、介護高齢課1台、保健センター1台、農務課1台、清掃事業課1台、道路建設課1台、公園緑地課1台、下水管理課1台、地域振興課1台、学校給食課1台)を購入した。今後も電気自動車の導入を推進していくことが課題である。						

【エコドライブ講習会の実施】※重点施策1-3

環境部環境課

予算科目	一般会計 4-1-10-060		全体実施期間			平成21年度～	
事業の概要	市内の自動車学校等でエコドライブ講習会を実施し啓発を図る。						
目標指標	過去値 (H21)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
受講者数	62人	139人	140人	140人	80人	80人	
<実績>		139人	118人	114人	73人	81人	
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
講習会（市民）開催	回	3	4	4	—	—	—
<実績>	回	3	3	3	—	—	—
講習会（職員）開催	回	1	1	1	1	1	—
<実績>	回	1	1	1	1	1	—
22年度成果・課題	参加者の内訳は市民59名、職員80名。今後は、事業所等への実施啓発が課題である。						
23年度成果・課題	参加者の内訳は市民46名、職員72名。今後は、事業所等への実施啓発が課題である。						
24年度成果・課題	参加者の内訳は市民38名、職員76名。課題については同上。						
25年度成果・課題	参加者は市職員73名。課題については同上。						
26年度成果・課題	参加者は市職員81名。課題については同上。						

環境目標③ まちを涼しくしよう
 <取組5 ヒートアイランド対策の推進>

○ヒートアイランド対策の推進

【都市公園整備事業】

建設部公園緑地課

予算科目	一般会計 8-5-5		全体実施期間		平成16年度～		
事業の概要	緑の基本計画に基づき、公園を整備する。						
目標指標	過去値 (H21)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
1人あたり 都市公園等面積	22.5㎡	22.9㎡	—	—	—	24.0㎡	
<実績>		23.1㎡	23.2㎡	23.2㎡	23.2㎡	23.2㎡	
身近に公園のある 地域の割合	71.0%	71.0%	—	—	—	73.0%	
<実績>		71.7%	71.7%	71.7%	71.7%	71.7%	
浸水性舗装を行う 新設公園数	—	—	—	1箇所	2箇所	2箇所	
<実績>		—	—	1箇所	—	—	
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
手取山公園（仮称）	式	1	—	—	—	—	70,000㎡
<実績>	㎡	48,008	—	—	—	—	—
豊川西部土地区画 整理地内公園	式	1	—	—	—	—	27,300㎡
<実績>	㎡	3,600	—	—	—	—	—
赤塚山公園改修	式	1	—	—	—	—	—
<実績>	式	1	—	—	水の広場改築	アニアニある改築	—
新池公園（仮称）	式	1	—	—	—	—	17,711㎡
<実績>	㎡	17,711	—	—	—	—	—
平尾東公園（仮称）	式	1	—	—	—	—	23,420㎡
<実績>	㎡	3,089	—	—	—	—	—
穂ノ原北公園（仮称）	式	—	—	—	—	—	1,500㎡
<実績>	㎡	—	—	—	—	—	—
御油松並木公園	式	1	1	1	—	—	23,000㎡
<実績>	㎡	配水管布設等	公園整備工事等	公園整備工事等	公園整備工事等	—	—
スポーツ公園	式	1	1	1	1	1	78,000㎡
<実績>	㎡	造成工事	公園整備工事等	公園整備工事等	公園整備工事等	公園整備工事等	—
豊川駅東土地区画 整理地内公園	式	—	—	—	1	1	19,000㎡
<実績>	㎡	—	—	—	三明公園基本設計	三明公園実施設計	—
一宮東部地区公園 （仮称）	式	—	—	—	1	1	5,000㎡
<実績>	㎡	—	—	—	—	—	—
22年度成果・課題	今まで実施してきた講習会を今後の実践活動につなげていけるかが課題。 民有地緑化に対する補助も継続してPRしていく必要がある。 子ども自然観察会7/21（20名） 花・苗配布事業（21団体） 緑化推進事業 空地・駐車場緑化1件						
23年度成果・課題	スポーツ公園整備に関しては、野球のできる多目的広場として2.0haの整備を供用開始。今後用地買収を含め残りの整備を目指す。 御油松並木公園整備については、広場、園路等の施行を行う。課題としては完成後の地元管理の範囲、内容などの検討が必要。						
24年度成果・課題	スポーツ公園整備に関しては、広場等の整備を行った。今後は、地権者及び他事業関係者と調整して整備を進めていく。御油松並木公園は、整備済みの1.8haを供用開始。完成後の維持管理については、引き続き地元と調整を行っていく。						
25年度成果・課題	スポーツ公園整備に関しては、遊具等の整備を行った。今後は、地権者及び他事業と調整して整備を進めていく。						
26年度成果・課題	スポーツ公園整備に関しては、防球ネット等の整備を行った。今後は、地権者及び他事業と調整して整備を進めていく。						

<取組6 緑化の推進>

○公共施設の緑化

【都市公園整備事業】

再掲 P. 12

【公園整備事業】

建設部公園緑地課

【公園整備事業】	一般会計 8-5-5		全体実施期間		平成25年度～		
予算科目							
事業の概要	市民参加・協力による公園計画の立案・利用促進・管理						
目標指標	過去値 (H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
ワークショップを行って整備する公園・緑地数	—		2箇所	—	—	—	6箇所
<実績>			1箇所	—	1箇所	—	1箇所
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
ワークショップ開催	式	1	—	—	1	1	—
<実績>	回	3	—	4	—	2	—
22年度成果・課題	大池散策路(その他公園)整備にあたり、地元町内会等を対象に3回のワークショップを開催し、散策路整備に必要な施設・デザインイメージ・維持管理のしやすい方法等の意見を聞いた。参加者は上宿町内会5名、八幡町内会5名、農事組合2名。整備面積3,600㎡。						
23年度成果・課題	平成24年度以降に計画している三明公園関係の資料収集、地元とのワークショップ開催について検討する。整備面積15,000㎡						
24年度成果・課題	年間を通して4回のワークショップを行った。整備面積が広いと、様々な意見があり、それらを取りまとめ一つの方向性を出す必要がある。						
25年度成果・課題	平成27年度以降に計画しているさつき公園関係の資料収集、地元とのワークショップについて検討する。						
26年度成果・課題	年間を通して2回のワークショップを行った。エリアを拡大して整備を行うため、地元各関係機関等との調整が必要である。						

○緑地の保全と創出

【緑化推進事業】

建設部公園緑地課

緑化推進事業	一般会計 8-5-7-030		全体実施期間		平成23年度～		
予算科目							
事業の概要	緑化推進のための講習会の開催、民有地緑化補助の実施						
目標指標	過去値（H21）		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
市民と行政が協働で管理する公園等の割合	－		2箇所	－	－	－	6箇所
<実績>			70.8%	72.3%	75.3%	75.3%	75.3%
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
講習会	式	－	1	1	1	1	－
<実績>	回	1	11	11	2	1	－
民有地緑化補助	式	－	－	1	1	1	－
<実績>	円	－	－	9,855,000	8,234,000	8,410,000	－
22年度成果・課題	親子で春の花の寄せ植え教室をH23.3.19に開催、参加者数39名。						
23年度成果・課題	講習会等を通じて緑化の大切さ楽しさを参加者に知ってもらう事ができた。この講座を機会に自主的に緑化に取り組んでくれるかが課題。 自然観察会 7/23（27名）11/12（32名）3/3（13名）72名 植木鉢にペイント講座 8/5（30名） 花壇づくり講座11/11（18名）11/15（17名）11/26（131名）166名 樹木の勉強会 10/29（27名） ハンギングバスケット講座 10/30（20名）3/18（20名）40名 寄せ植え教室 2/19（32名） 延参加数 367名						
24年度成果・課題	講習会を今後の実践活動につなげていけるかが課題。民有地緑化に対する補助も継続してPRしていく必要がある。里山保全リーダー養成講座全6回（104名）ハンギングバスケット講座 7/10（20名）花壇作り講座全4回（172名）竹細工教室10/21（183名）花・苗木配布事業10団体 緑化推進事業 空地緑化補助 2件、生垣設置補助 1件						
25年度成果・課題	今まで実施してきた講習会を今後の実践活動につなげていけるかが課題。民有地緑化に対する補助も継続してPRしていく必要がある。 子ども自然観察会7/3（20名）、植木鉢にペイント講座7/21（20名） 花・苗木配布事業（16団体） 緑化推進事業 空地・駐車場緑化1件、屋上緑化1件						
26年度成果・課題	今まで実施してきた講習会を今後の実践活動につなげていけるかが課題。民有地緑化に対する補助も継続してPRしていく必要がある。 子ども自然観察会7/21（20名）花・苗木配布事業（21団体） 緑化推進事業 空地・駐車場緑化1件						

○緑化活動の啓発

【豊川市民憲章推進事業】

市民部市民協働国際課

予算科目	一般会計 2-1-24-090			全体実施期間		昭和46年度～	
事業の概要	市民憲章推進協議会による市の木・市の花の苗木無償配布						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
協議会交付金	式	1	1	1	1	1	—
<実績>	千円	800	2,400	1,400	700	700	—
22年度成果・課題	豊川市民憲章推進協議会に交付金を支給し、協議会事業として緑化推進を目的に、おいでん祭において苗木340本を無償配布した。（※市の木・市の花以外の苗木含む）						
23年度成果・課題	同上、苗木520本を無償配布した。						
24年度成果・課題	同上、苗木600本を無償配布した。						
25年度成果・課題	同上、苗木520本を無償配布した。						
26年度成果・課題	同上、苗木370本を無償配布した。						

【緑化推進事業】再掲P.13

○開発事業への指導

環境目標④ いろいろな生き物の住む自然を守ろう

＜取組7 森林の保全・整備＞

○森林の育成と管理

【林道開設事業】

産業部農務課

予算科目	一般会計 6-2-1-010			全体実施期間		平成18年度～	
事業の概要	林業の開設事業						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
開設工事（城山線）	m	120	120	120	136	0	820
＜実績＞	m	114	109	102	0	0	－
〃（千両2号線）	m	－	－	－	120	120	2,400
＜実績＞	m	－	－	－	0	0	－
22年度成果・課題	林道の開設により、森林整備、保全活動の負担軽減を図った。						
23年度成果・課題	同上、計画が実績より少ないのは、国庫補助金が減額されたため。						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	城山線は地権者の同意が得られず、千両2号線は先送りとなったため実績なし。						
26年度成果・課題	同上						

【小規模林道事業】

産業部農務課

予算科目	一般会計 6-2-1-020		全体実施期間			平成18年度～	
事業の概要	林道の舗装事業						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
舗装工事 (牛沢下谷下線)	m	300	300	300	300	—	2,812
＜実績＞	m	301	256	268	148	103	4,381
舗装工事 (本宮山線)	m	—	—	—	—	—	7,250
＜実績＞	m	—	—	—	—	78	445
22年度成果・課題	林道の舗装により、維持管理経費の節減と森林作業負担の軽減を図った。						
23年度成果・課題	同上、及び計画が実績より少ないのは、施行方法が変更したため。						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	同上、及び実績が計画より少ないのは、施行方法が変更したため。 26年度において牛沢下谷下線90mで終了とし、引続き本宮山線150mを施行予定。						
26年度成果・課題	牛沢下谷下線は事業完了し、森林作業効率化を図るとともに利便性を高めた。 新たに本宮山線に着手した。						

○開発事業への指導

○森林の保全意識の啓発

<取組 8 河川・海岸の保全>

○現状把握

【生物多様性保全事業】再掲 P. 19

【環境学習推進事業】再掲 P. 54

○河川・海岸の生態系の保全・再生

【準用河川改修事業】

建設部道路維持課

予算科目	一般会計 8-3-1-010、020		全体実施期間		平成12年度～平成26年度		
事業の概要	多自然型川づくりによる河川改修工事						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
上谷下川河川改修	m	24	80	80	80	—	1,021
<実績>	m	24	53	133	49	—	—
青木川河川改良	m	—	80	—	—	—	80
<実績>	m	—	用地買収	80	90	—	—
22年度成果・課題	上谷下川は、土地改良区域の最上流まで整備が完了し、H23年度より工事着手予定の下流域の用地買収が一部完了した。青木川は、県との河川法の事前協議が成立した。						
23年度成果・課題	上谷下川は、下流域の残りの用地買収が完了し、前年度用地買収箇所の一部の工事が完了した。青木川は、県との河川法の本協議が成立し、用地買収が完了した。						
24年度成果・課題	上谷下川は、河川改修が順調に進み、133mの工事が完了した。						
25年度成果・課題	上谷下川は、青木川共に、当面の整備区間の工事が完了した。						
26年度成果・課題	上谷下川は、管理道路の舗装工事が完了した。						

○保全活動の啓発・支援

<取組9 水循環の保全>
 ○水源涵養林の保全・整備
 ○流域の連携
 ○開発事業への指導
 ○水の有効利用の啓発・支援

【国庫補助浄化槽雨水貯留施設転用支援事業】※重点施策2-4 上下水道部下水管理・整備課

予算科目	公共下水道特別会計 2-1-1-101				全体実施期間		—
事業の概要	浄化槽の雨水貯留施設転用に対する補助（下水道事業認可区域内）						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
浄化槽雨水貯留施設転用費補助	基	23	20	20	20	20	—
<実績>	基	9	3	3	5	1	—
22年度成果・課題	溢水対策、上下水道使用料抑制、廃棄物排出抑止、浄化槽有効利用等の効果があり、環境にやさしい生活スタイル推進に寄与した。 浄化槽の転用は、下水道接続時の同時施工のため出費の集中による経済的条件があるため計画的に普及されていくことが難しい。						
23年度成果・課題	同上						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	同上						

【国庫補助雨水貯留施設設置支援事業】※重点施策2-4 上下水道部下水管理・整備課

【国庫補助雨水貯留施設設置交付事業】水環境対策費	公共下水道特別会計 2-1-1-101				全体実施期間		—
予算科目							
事業の概要	雨水貯留施設設置に対する補助（雨水全体計画区域内）						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
雨水貯留施設 設置費補助	基	26	24	24	24	24	—
<実績>	基	30	27	21	17	15	—
22年度成果・課題	溢水対策、上下水道使用料の抑制効果が期待され、環境にやさしい生活スタイル推進に寄与した。						
23年度成果・課題	同上						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	同上						

○公共施設などにおける水の有効利用

【雨水浸透施設築造事業】※重点施策2-4 上下水道部下水整備課

【雨水浸透施設設置事業】	公共下水道特別会計 2-1-1-102				全体実施期間		平成15年度～平成30年度	
事業の概要	浸透トレンチ、浸透ます等の雨水浸透施設の設置							
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画	
浸透トレンチ設置	m	900	900	1,000	1,000	1,000	22,500	
<実績>	m	675	669	712	890	737	—	
雨水浸透ます設置	箇所	40	40	45	45	45	675	
<実績>	箇所	29	32	39	43	34	—	
22年度成果・課題	浸水対策、地盤沈下対策、集中豪雨対策、地下水涵養等の効果があり、健全な水循環が図られる。雨水計画以上の雨が降った時の対応として雨水浸透施設のより効果的な設置が必要である。							
23年度成果・課題	同上							
24年度成果・課題	浸透施設により、雨水を浸透させ健全な水循環を図るとともに、計画以上の雨が降った場合に補完的な機能も果たす。地理的条件や浸水実績を考慮し、効果的な設置が必要である。							
25年度成果・課題	同上							
26年度成果・課題	同上							

【都市公園整備事業】再掲P.12

【配水管整備事業】

上下水道部水道業務・整備課

予算科目	水道企業会計 41-1-3-21			全体実施期間		—	
事業の概要	主要幹線耐震布設替工事、区画整理に伴う配水管新設等						
目標指標	過去値 (H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
有収率	92.5%		92.9%	93.0%	93.1%	93.2%	93.2%
<実績>			92.5%	92.5%	92.7%	92.8%	92.8%
年度間漏水修繕件数	74件		72件	72件	71件	70件	70件
<実績>			77件	77件	56件	60件	44件
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
配水管整備工事	m	15,080	15,665	14,880	17,600	12,540	—
<実績>	m	10,722	12,755	12,615	12,472	15,695	—
経年管布設替工事	m	4,785	5,855	2,490	2,245	4,660	—
<実績>	m	5,663	6,268	5,637	7,044	7,602	—
22年度成果・課題	他事業関連による支障移転工事の事業量が多く、水道単独の計画的な経年管の布設替事業にあてる事業費が限られる。						
23年度成果・課題	計画の進捗状況は改善されつつあるが、引き続き他事業関連による支障移転工事量が多く、水道単独の計画的な経年管の布設替事業にあてる事業費が限られる。						
24年度成果・課題	他事業関連による支障移転工事量が減少したため、水道単独の計画的な経年管の布設替事業費を増加させることが出来た。						
25年度成果・課題	昨年に引き続き支障移転の工事量が減少したため、水道単独の計画的な経年管の布設替事業費が増加できたが、水道水安定供給のため、よりいっそうの経年布設替が必要である。						
26年度成果・課題	他事業に関連する支障移転工事が減少した為、計画的な水道単独の経年管布設替工事が増加できたが、今後は今まで以上に経年管が増加することが想定される為、より一層の経年管の布設替が必要である。						

【水道施設整備事業】

上下水道部水道業務・整備課

予算科目	水道企業会計 21-1-2			全体実施期間		—	
事業の概要	水道施設の計画的な更新及び耐震補強工事等の実施						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
水道施設整備事業	箇所	14	3	3	5	9	—
<実績>	箇所	8	3	4	4	6	—
〃 耐震整備工事	箇所	6	3	3	5	7	—
<実績>	箇所	6	3	2	3	0	—
水道施設更新工事	箇所	4	16	12	14	33	—
<実績>	箇所	4	16	10	10	11	—
22年度成果・課題	合併に伴い施設の見直し等により整備事業箇所に変更が生じた。耐震整備及び更新工事は予定通り行えた。						
23年度成果・課題	全て予定通り行えた。施設の統廃合により、エネルギー消費が少なく、環境にやさしい施設整備をする。						
24年度成果・課題	箇所数的には、予定と大差なく行えた。内容的には、故障等で予定外の更新が増えた。						
25年度成果・課題	耐震整備工事の減少は予定箇所が対応済みであったことによるもので、計画通り進んでいる。設備の稼働状況も変わっており、事業計画の見直しを進めている。						
26年度成果・課題	耐震整備工事はほぼ終了になり、水道施設整備事業は、基本計画に沿って行っています。						

<取組10 自然環境との共生>

○動植物の調査

【生物多様性保全事業】※重点施策2-1、2-2

環境部環境課

予算科目	一般会計 4-1-10-110、130		全体実施期間		平成22年度～		
事業の概要	市民参加型の里山・水辺調査、自然環境マップの作成						
目標指標	過去値 (H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
身近な自然環境調査等の市民参加者数 (累計)	—		120名	200名	300名	400名	500名
<実績>			135名	252名	377名	675名	974名
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
身近な自然環境調査	回	2	2	2	2	2	—
<実績>	回	4	4	4	7	6	—
自然環境マップ作成	式	—	1	—	—	—	—
<実績>	部	—	1	—	—	—	—
22年度成果・課題	市民参加による宮路山及び本宮山の自然環境調査(参加者37名)や、音羽川の水生生物調査(参加者70名)、子ども環境学習における「川の生き物調査(豊川・佐奈川)」(参加者23名)を実施した。						
23年度成果・課題	市民参加による観音山及び赤塚山の自然環境調査(参加者42名)や、音羽川の水生生物調査(参加者60名)、子ども環境学習における「川の生き物調査(豊川・佐奈川)」(参加者15名)を実施した。また、生物多様性を啓発するパネルを作成し地域の取組みについて紹介した。また、緊急雇用創出事業を活用し豊川市内の自然環境の現況(地質、植物、動物等)を調査するとともに、豊川市の身近な自然環境マップを作成した。						
24年度成果・課題	市民参加による自然環境調査「手取山+牛の滝」(参加者26名)、「江島河川敷+旗頭山」(参加者16名)や、「音羽川水生生物調査」(参加者60名)、子ども環境学習における「川と海の生き物調査(佐奈川・竹島海岸)」(参加者23名)を実施した。						
25年度成果・課題	市民参加による自然環境調査「手取山+旗頭山」(参加者15名)、「宮路山」(参加者16名)や、「音羽川水生生物調査」(参加者60名)を実施した。また「自然観察出前講座」として児童クラブ(参加者66名)と小学校(参加者桜木小50名、小坂井東小91名)で身近な生き物をテーマにした出前講座を実施した。						
26年度成果・課題	市民参加による自然環境調査「宮路山」(参加者8名)、「東三河ふるさと公園+穴観音古墳」(参加者27名)や、「音羽川水生生物調査」(参加者83名)を実施した。また「自然観察出前講座」として小学校(参加者桜木小85名、小坂井東小96名)で身近な生き物をテーマにした出前講座を実施した。						

【環境学習推進事業】再掲P.54

○貴重な自然環境の保全

【御油松並木保存整備事業】

教育委員会生涯学習課

予算科目	一般会計 10-4-2-120			全体実施期間		平成20年度～	
事業の概要	並木沿いの保存区域を文化財保護地用地として公有化						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
用地測量	式	1	—	—	—	—	—
<実績>	式	1	—	—	—	1	—
用地買収	m ²	653	—	573	—	—	—
<実績>	m ²	653	—	572	—	635	—
22年度成果・課題	保存区域の一部を土地買上げし、並木マツの生育環境の保全に努めた。今後も計画的に保存区域の公有化を図る必要がある。						
23年度成果・課題	隔年での事業実施のため、平成23年度は実績なし。						
24年度成果・課題	文化財保護用地として、個人所有の畑3筆（571.71m ² ）を公有地化した。						
25年度成果・課題	隔年での事業実施のため、平成25年度は実績なし。						
26年度成果・課題	文化財保護用地として、個人所有の宅地2筆（635.02m ² ）を公有地化した。						

【御油松並木景観整備事業】

教育委員会生涯学習課

予算科目	一般会計 10-4-2-040、070		全体実施期間		平成21年度～		
事業の概要	樹勢回復作業及びマツ苗の植樹等を行い、整備活動の拠点を整備						
目標指標	過去値 (H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
並木松本数	275本		282本	295本	306本	319本	319本
<実績>			282本	280本	283本	285本	292本
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
樹勢回復・苗植樹	式	1	1	1	1	—	—
<実績>	式	1	1	1	1	1	—
整備活動拠点整備	式	—	1	—	—	—	—
<実績>	式	—	1	—	—	—	—
22年度成果・課題	地元御油松並木愛護会への委託事業として樹勢回復作業、マツ苗植樹を行い、地域住民らによる愛護・保全活動の活性化が図られた。						
23年度成果・課題	地元御油松並木愛護会への委託事業として樹勢回復作業、マツ苗植樹を行い、地域住民らによる愛護・保全活動の活性化が図られた。但し、台風による倒木や枯損などによる伐採数が植樹数を上回っており、総本数が減少しているのが課題である。また、マツ並木に隣接する418.39㎡の土地を取得して環境整備工事を実施し、マツ並木の保護活動の作業拠点を整備した。						
24年度成果・課題	地元御油松並木愛護会への委託事業として樹勢回復作業、マツ苗植樹を行い、地域住民らによる愛護・保全活動の活性化が図られた。但し、松枯れによる伐採数が多く、計画通りに本数が増えていない。						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	同上						

【御油松並木迂回路整備事業】

建設部道路建設課

予算科目	一般会計 8-2-2-160			全体実施期間		平成21年度～平成23年度	
事業の概要	御油松並木の保護に向けた迂回路の拡幅改良工事						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
用地買収・移転補償	式	1	—	—	—	—	—
<実績>	式	1	—	—	—	—	—
道路改良工事	m	—	300	—	—	—	300
<実績>	m	—	399	—	—	—	399
22年度成果・課題	迂回路拡幅のための用地買収、移転補償を行った。						
23年度成果・課題	御油松並木の保護に向けた迂回路の整備が完了した。						
24年度成果・課題							
25年度成果・課題							
26年度成果・課題							

○特定外来生物防除や鳥獣害対策

【有害鳥獣駆除事業】

産業部農務課

予算科目	一般会計 6-1-3-020			全体実施期間		平成13年度～	
事業の概要	有害鳥獣の駆除活動及び被害低減のための補助等						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
駆除委託	式	1	1	1	1	1	—
＜実 績＞	千円	1,500	1,500	1,500	2,000	2,000	—
防除対策補助	式	1	1	1	1	1	—
＜実 績＞	千円	555	2,295	1,270	354	392	—
駆除報償金	式	1	1	1	1	1	—
＜実 績＞	千円	500	730	1,920	7,177	6,723	—
鳥獣被害対策協議会負担金	式	1	1	1	1	1	—
＜実 績＞	千円	800	800	800	800	800	—
22年度成果・課題	野生鳥獣による農作物等の被害の軽減を図るため、猟友会と連携を図り、捕獲体制の充実に努めた。また、豊川市鳥獣被害防止対策協議会や地元組織と連携して、防除ネットや捕獲檻の設置などを地元住民と協力して実施した。						
23年度成果・課題	野生鳥獣による農作物等の被害の低減を図るため、猟友会及びサル追い払い隊と連携を図り、捕獲体制の充実に努めた。また、豊川市鳥獣被害防止対策協議会や地元組織と連携して、ワイヤーメッシュ柵や捕獲檻の設置などを地元住民と協力して実施した。						
24年度成果・課題	被害防止対策協議会、地元駆除組織と連携し、捕獲檻の設置数の拡大、地元住民との協力により被害の多い地区のを重点に侵入防護柵を設置するなど、引き続き体制強化に努めました。昨年度、編成された「サル追い払い隊」については、「サル駆除隊」として再編成し、サル被害が多発する地区を中心にパトロールを実施しました。また、地元駆除組織が捕獲した有害鳥獣の実情に応じ、報償金を交付しました。						
25年度成果・課題	豊川市猟友会、被害防止対策協議会、地元駆除組織と連携し、捕獲檻の設置数の拡大、大型捕獲檻の導入、侵入防護柵を設置するなど、引き続き体制強化に努めました。また、近年サル被害が増加しているため、サルの行動範囲調査やサル駆除隊による捕獲強化を実施しました。						
26年度成果・課題	豊川市猟友会、被害防止対策協議会、地元駆除組織と連携し、捕獲檻の設置数の拡大、侵入防護柵を設置するなど、引き続き体制の強化に努めました。また、近年サル被害が増加しているため、大型捕獲檻の設置数の拡大、サルの行動範囲調査、サル駆除隊による捕獲強化を実施しました。						

○開発事業への指導

環境目標⑤ 身近な自然を守ろう

＜取組１１ 農地の保全＞

○農地の保全

【土地改良事業（単県・市費単独）】

産業部農務課

予算科目	一般会計 6-1-5-010、020		全体実施期間			平成18年度～	
事業の概要	かんがい排水改良工事、農道整備工事等						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
かんがい排水（単県）	地区	4	3	3	4	5	—
＜実績＞	地区	3	3	3	2	3	—
農道舗装（単県）	地区	4	3	4	3	5	—
＜実績＞	地区	3	2	0	0	0	—
かんがい排水（市単）	地区	10	4	4	4	5	—
＜実績＞	地区	11	6	7	7	6	—
農道舗装（市単）	地区	4	3	4	4	5	—
＜実績＞	地区	6	6	6	6	5	—
22年度成果・課題	かんがい排水施設の改修、農道舗装の施工により、作業効率の向上が図られた。今後は、老朽化施設の継続的改修が課題である。						
23年度成果・課題	かんがい排水施設の改修、農道舗装の施工により、作業効率の向上が図られた。今後は、老朽化施設の継続的改修が課題である。農道舗装（単県）実績が計画より少ないのは、採択用件が変更し、県費金額が減額されたため。						
24年度成果・課題	かんがい排水施設の改修、農道舗装の施工により、作業効率の向上が図られた。今後は、老朽化施設の継続的改修が課題である。農道舗装（単県）実績が計画より少ないのは、採択用件が変更され、不採択とされたため。						
25年度成果・課題	かんがい排水施設の改修、農道舗装の施工により、作業効率の向上が図られた。今後は、老朽化施設の継続的改修が課題である。農道舗装（単県）実績がないのは、採択用件が変更されたため。						
26年度成果・課題	かんがい排水施設の改修、農道舗装の施工により、作業効率の向上が図られた。今後は、老朽化施設の継続的改修が課題である。農道舗装（単県）実績がないのは、採択用件が変更されたため。						

【土地改良施設維持管理適正化事業】

産業部農務課

予算科目	一般会計 6-1-5-040			全体実施期間		平成19年度～	
事業の概要	排水路浚渫、排水機場修繕、取水堰修繕						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
排水路浚渫	式	—		1	1	1	—
＜実績＞	式	—		1	0	2	—
排水機場修繕	式	—	1	1	—	1	—
＜実績＞	式	—	1	1	—	1	—
22年度成果・課題							
23年度成果・課題	ポンプ・エンジンのオーバーホールを行うことで排水機効率の向上が図られた。						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	排水路の浚渫をH25年度に要望したが、採択年度が先送りとなった。						
26年度成果・課題	排水路の浚渫及び排水機場のバッテリー交換により排水効率が向上した。						

【農地・水・環境保全向上対策事業】

産業部農務課

予算科目	一般会計 6-1-5-050			全体実施期間		平成19年度～平成23年度	
事業の概要	農地・水利施設、農村環境を保全する活動組織への交付金						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
共同活動支援	組織	8	8	—	—	—	—
<実績>	組織	8	8	5	5	5	—
営農活動支援	組織	2	2	—	—	—	—
<実績>	組織	2	2	—	—	—	—
22年度成果・課題	制度の趣旨に沿った地元活動により、農環境の改善が図られた。今後は、活動の継続性が課題である。						
23年度成果・課題	同上						
24年度成果・課題	営農活動支援事業については平成23年度をもって終了した。 新規に向上活動支援が追加され、2組織に補助を行った。						
25年度成果・課題	平成24年度から追加された向上活動支援は、昨年度に引き続き2組織に補助を行った。 平成26年度から国の制度の組替え名称変更により、農地・水環境保全向上対策事業の名称が、多面的機能支払交付金事業となる。事業内容は、共同活動支援が農地維持支払と資源向上支払（共同事業）の2事業に変更となり、向上活動支援は資源向上支払（長寿命化）に名称変更となった。						
26年度成果・課題	農地維持支払は1組織増加し6組織、資源向上支払（共同活動）は5組織、資源向上支払（長寿命化）は1組織増加し3組織となった。						

【耕作放棄地（遊休農地）復旧対策支援事業】※重点施策2-3

産業部農務課

予算科目	一般会計 6-1-3-040			全体実施期間		平成21年度～	
事業の概要	耕作放棄地の再生利用等を行う耕作放棄地対策協議会への負担金						
目標指標	過去値（H21）		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
耕作放棄地の解消	2.3ha		12.5ha	19.0ha	26.0ha	32.0ha	39.0ha
<実績>			12.5ha	11.9ha	13.7ha	27.9ha	34.1ha
農地利用集積	258.5ha		268.0ha	293.0ha	318.0ha	343.0ha	368.0ha
<実績>			269.9ha	279.8ha	290.5ha	337.0ha	349.7ha
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
協議会負担金	式	1	1	1	1	1	—
<実績>	千円	480	480	380	480	480	—
22年度成果・課題	耕作放棄地対策を推進するため、豊川市耕作放棄地対策協議会に対し負担金を交付した。						
23年度成果・課題	思ったより、農業者等からの申請件数が少なく、目標値をクリアすることができなかった。						
24年度成果・課題	申請が思うように伸びず、地元の担い手を中心に制度の周知を図り、利用増を目指したい。						
25年度成果・課題	制度の周知の結果、担い手による利用増が図られた。						
26年度成果・課題	昨年度に引き続き、担い手による利用増が図られた。						

【認定農業者育成支援事業】※重点施策2-3

産業部農務課

予算科目	一般会計 6-1-3-100、150			全体実施期間		平成21年度～	
事業の概要	地域農業を支える担い手の育成等を行う担い手育成協議会への負担金						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
協議会負担金	式	1	1	1	1	1	—
<実績>	千円	1,750	1,350	650	1,537	998	—
22年度成果・課題	農業の基礎的な知識の習得を目的として「農業塾」と今からの農業を担う人材の育成を目的とした「就農塾」の運営等に対する支援として豊川市農業担い手育成総合支援協議会へ負担金を交付した。						
23年度成果・課題	同上						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	同上						

○農業への支援

【農地地図情報システム整備事業】

産業部農務課

予算科目	一般会計 6-1-3-140			全体実施期間		平成23年度～平成24年度	
事業の概要	農用地や耕作放棄地等の情報と地図を関連付けるためのシステム整備						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
システム整備	式	—	1	1	—	—	—
<実績>	式	—	1	1	—	—	—
22年度成果・課題							
23年度成果・課題	農業振興地域の統合型GIS用のデータを作成した。						
24年度成果・課題	農業振興地域の統合型GISの共用が開始された。						
25年度成果・課題							
26年度成果・課題							

【水田農業戸別所得補償事業】

産業部農務課

予算科目	一般会計 6-1-3-010			全体実施期間		平成16年度～	
事業の概要	転作による食料自給率向上や農地利用集積のため米生産調整を推進						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
戸別所得補償対策事業	式	1	1	1	1	1	—
<実績>	式	1	1	1	1	1	—
22年度成果・課題	水田農業の経営安定と食料自給率の向上を図るため、米の需給調整（生産調整）を進めるとともに、モデル事業として導入された水田戸別所得補償制度の推進を図った。						
23年度成果・課題	水田農業の経営安定と食料自給率の向上を図るため、米の需給調整（生産調整）を進めるとともに、本格導入された農業者戸別所得補償制度の推進を図った。						
24年度成果・課題	水田農業の経営安定と食料自給率の向上を図るため、米の需給調整（生産調整）を進めるとともに、昨年に引き続き農業者戸別所得補償制度の推進を図った。						
25年度成果・課題	水田農業の経営安定と食料自給率の向上を図るため、米の需給調整（生産調整）を進めるとともに、昨年に引き続き経営所得安定対策（旧農業者戸別所得補償。平成25年度名称変更）制度の推進を図った。						
26年度成果・課題	同上						

【農業近代化資金利子補助・農業経営基盤強化資金利子補助事業】							産業部農務課
予算科目	一般会計 6-1-3-070、080			全体実施期間		昭和44年度～	
事業の概要	農業近代化資金や農業経営基盤強化資金に対する利子補給						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
農業近代化資金等	式	1	1	1	1	1	—
<実 績>	千円	1,976	1,706	1,610	1,154	2,016	—
農業経営基盤強化資金	式	1	1	1	1	1	—
<実 績>	千円	2,229	1,926	1,566	1,527	965	—
22年度成果・課題	農業者の経営の近代化を推進し農業技術等の向上を図る活動を支援するため、農業関係団体等に補助を行い農業振興に努めた。また、平成21年の台風18号により被災した農家を対象に、運転資金等の利子補助を行った。						
23年度成果・課題	同上						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	同上						

【市民小菜園管理運営事業】							産業部農務課
予算科目	一般会計 6-1-2-030			全体実施期間		昭和59年度～	
事業の概要	市民小菜園の管理運営、新規開園						
目標指標	過去値 (H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
市民小菜園数	8箇所		10箇所	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所
<実 績>			10箇所	10箇所	9箇所	9箇所	9箇所
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
管理運営	式	1	1	1	1	1	—
<実 績>	式	1	1	1	1	1	—
新規造成	箇所	2	—	—	—	—	—
<実 績>	箇所	2	—	—	—	—	—
22年度成果・課題	市民が野菜等の栽培を通じて土や緑に親しみ、農地の有効利用と農業に対する理解を深めるため、市民小菜園の管理運営を行った。また、新たに蔵子市民小菜園と麻生田市民小菜園を整備した。						
23年度成果・課題	市民が野菜等の栽培を通じて土や緑に親しみ、農地の有効利用と農業に対する理解を深めるため、市民小菜園の管理運営を行った。						
24年度成果・課題	市民が野菜等の栽培を通じて土や緑に親しみ、農地の有効利用と農業に対する理解を深めるため、市民小菜園の管理運営を行った。また、美幸小菜園がH24. 12. 末で閉園となり、9箇所となったが、空き区画が有る状況となっている。						
25年度成果・課題	市民が野菜等の栽培を通じて土や緑に親しみ、農地の有効利用と農業に対する理解を深めるため、市民小菜園の管理運営を行った。 9箇所ある小菜園のうち、一部に若干の空き区画があるものの、ほとんどの小菜園の区画は利用されている状況である。						
26年度成果・課題	同上						

【産地間競争力強化促進事業】							産業部農務課
予算科目	一般会計 6-1-2-070			全体実施期間		平成19年度～	
事業の概要	農産物輸出促進やブランド創出を行う農政企画協議会への負担金						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
協議会負担金	式	1	1	1	1	1	—
<実績>	千円	390	390	176	255	255	—
22年度成果・課題	豊川市農政企画協議会において、産地間競争力強化事業負担金として負担金を交付した。事業として東京シテイプロモーション（東京都庁）他に参加した。						
23年度成果・課題	豊川市農政企画協議会が実施する産地間競争力強化事業に対し負担金を交付した。23年度は香港にイチゴを輸出し、現地で好評であった。						
24年度成果・課題	東京日本橋での観光物産展に参加し、豊川産農産物等の啓発に努めた。						
25年度成果・課題	とよかわ農業市の開催、FOOMAジャパン（東京ビッグサイト）へ参加し豊川産農産物等の普及啓発に努めた。						
26年度成果・課題	とよかわ農業市の定期開催、他のイベントへの積極的な参加、ホームページ「うまとよウェブ」の活用等により、豊川産農産物等の普及啓発に努めた。						

【食の安心安全システム推進事業】

産業部農務課

予算科目	一般会計 6-1-2-060			全体実施期間		平成16年度～	
事業の概要	こだわり農産物認証制度を推進する農政企画協議会への負担金						
目標指標	過去値 (H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
こだわり農産物 認定承認品目数	40品目		40品目	—	—	—	45品目
<実 績>			41品目	41品目	41品目	45品目	50品目
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
協議会負担金	式	1	1	1	1	1	—
<実 績>	千円	300	300	299	433	433	—
22年度成果・課題	豊川市農政企画協議会において、食の安全安心システム推進事業として豊川市こだわり農産物審査委員会を開催した。						
23年度成果・課題	同上						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	豊川市農政企画協議会において、食の安全安心システム推進事業として豊川市こだわり農産物審査委員会を開催した。また、こだわり農産物を広くPRするため、B－1グランプリ豊川市観光物産展、とよかわ農業市、豊川いなり寿司フェスタへ積極的に参加し、販売促進に努めました。						
26年度成果・課題	豊川市農政企画協議会において、食の安全安心システム推進事業として豊川市こだわり農産物審査委員会を開催した。また、こだわり農産物を広くPRするため、とよかわ農業市に参加し、販売促進に努めた。						

【食育推進事業】

産業部農務課

予算科目	一般会計 6-1-2-020			全体実施期間		平成20年度～平成25年度	
事業の概要	食農体験プロジェクト等の実施に対する補助、食育啓発事業の実施						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
事業費補助団体	団体	11	11	11	11	11	—
<実績>	団体	11	6	10	5	—	—
食育啓発事業	式	1	1	1	1	1	—
<実績>	式	1	1	1	1	—	—
22年度成果・課題	市民とともに「食育」を推進するため、食育活動を推進する団体等を対象に補助金を交付した。また、食育について地元の食材を使用した料理教室やおいでん祭等で啓発事業を実施した。						
23年度成果・課題	事業費補助団体数については、1団体1回限りの交付ということもあり、前年度より減少した。						
24年度成果・課題	事業費補助団体数については、事業の啓発、周知に努めた結果、前年度より増となった。						
25年度成果・課題	事業費補助団体数については、事業の啓発、周知に努めたが、前年度より減少した。また、補助金の交付は、平成25年度をもって終了とした。						
26年度成果・課題							

＜取組１２ 巨木・名木の保全＞

○巨木・名木の保全

○その他の保全

環境目標⑥ ごみを減らして、リサイクルしよう
<取組13 リフューズ・リデュース(断る・減らす)の推進>

○ごみ減量の推進

【ごみ処理基本計画策定事業】※重点施策3-1

環境部清掃事業課

予算科目	一般会計 4-2-1-030		全体実施期間		平成22年度		
事業の概要	ごみ処理基本計画の策定						
目標指標	過去値 (H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
市民1日一人当たり ごみ排出量	1,099 g		1,098 g	1,090 g	1,082 g	1,074 g	1,067 g
<実績>			1,075 g	1,083 g	1,069 g	1,056 g	1,043 g
市民一人当たりの 年度間ごみ処理費	10,776円		10,258円	10,163円	10,068円	9,973円	9,878円
<実績>			11,549円	10,339円	11,420円	10,105円	10,522円
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
基本計画策定委託	式	1	取組実施				
<実績>	式	1	取組実施				
22年度成果・課題	ごみ処理基本計画の策定						
23年度成果・課題	ごみ処理基本計画継続中						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	同上						

【生ごみ処理機購入支援事業】※重点施策3-4

環境部清掃事業課

予算科目	一般会計 4-2-1-040			全体実施期間		平成22年度～	
事業の概要	生ごみ処理機購入に対する補助 購入費の1/2、上限15,000円助成						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
生ごみ処理機 購入費補助	台	100	100	100	100	100	—
<実績>	台	78	26	32	18	24	—
22年度成果・課題	可燃ごみの約4割を占める生ごみを自家処理することで、ごみの減量化を図るため、電動式生ごみ処理機を購入した78名に補助金を交付した。						
23年度成果・課題	電動式生ごみ処理機を購入した26名に補助金を交付した。なお、24年度から補助対象の台数を100台から50台に変更。また、生ゴミ処理ダンボールコンポストの実施について、10名のモニター募集を行い、普及啓発に努めた。						
24年度成果・課題	可燃ごみの約4割を占める生ごみを自家処理することで、ごみの減量化を図るため、電動式生ごみ処理機を購入した32名に補助金を交付した。なお、24年度から補助対象の台数を100台から50台に変更した。						
25年度成果・課題	可燃ごみの約5割を占める生ごみを自家処理することで、ごみの減量化を図るため、電動式生ごみ処理機を購入した18名に補助金を交付した。						
26年度成果・課題	可燃ごみの約5割を占める生ごみを自家処理することで、ごみの減量化を図るため、電動式生ごみ処理機を購入した24名に補助金を交付した。						

【市役所地球温暖化対策実行計画推進事業】再掲P.1

○ごみ減量の啓発・支援

【ごみ減量・分別啓発冊子作成事業】※重点施策3-3

環境部清掃事業課

【ごみ減量・分別啓発冊子作成事業】	一般会計	4-2-1-020	全体実施期間			平成23年度	
事業の概要	啓発冊子を作成し、各戸配付(ごみ減量・分別啓発冊子作成)						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
啓発冊子作成・配布	部	—	80,000	—	—	—	80,000
<実績>	部	—	作成80,000	配布55,000	3,000	2,500	—
22年度成果・課題							
23年度成果・課題	ごみ減量・分別の啓発のための冊子を作成し、生ごみひとしぼり運動の啓発を行った。						
24年度成果・課題	町内会を通じて全戸配付を実施した。また、転入者などにも配布した。						
25年度成果・課題	転入者などに配布した。						
26年度成果・課題	転入者などに配布した。						

【ごみ減らし隊立ち上げ事業】※重点施策3-1

環境部清掃事業課

予算科目	一般会計 4-2-1-020			全体実施期間		平成22年度～	
事業の概要	ごみ減量大作戦に向けたプロジェクトチームの立ち上げ						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
ごみ減らし隊立ち上げ	式	1	取組実施				→
<実績>	式	1	取組実施				→
22年度成果・課題	大学准教授や市民等10名からなる「ごみ減らし隊」を立ち上げ、ごみ減量に向けて行政に対する提言を行った。						
23年度成果・課題	ごみ減量・分別の啓発のための冊子を作成した。						
24年度成果・課題	事業系ごみの減量化を図るため、事業所の実態を把握するアンケート調査を実施した。						
25年度成果・課題	事業系ごみ減量マニュアルの素案を作成した。						
26年度成果・課題	事業系ごみ減量マニュアルを作成した。						

【再生利用啓発事業】再掲P. 33

<取組 1 4 リユース(再使用)の推進>

○再使用の推進

【ごみ処理基本計画策定事業】再掲P. 28

【フリーマーケット開催支援】

環境部清掃事業課

予算科目	—			全体実施期間			—
事業の概要	開催案内の広報掲載、会場使用料の減免						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
フリーマーケット 開催支援	式	1	1	1	1	1	—
<実績>	式	1	1	1	1	1	—
22年度成果・課題	不用品の再使用を推進するため、市民団体が行うフリーマーケットの情報を広報へ掲載するとともに、会場の使用料の減免申請をするなどの支援を行った。						
23年度成果・課題	同上						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	同上						

【不用品交換情報誌発行事業】

環境部清掃事業課

【不用品交換情報誌発行事業】		一般会計 4-2-1-040		全体実施期間		平成6年度～	
予算科目							
事業の概要	不用品交換情報誌「月刊クルクル」の発行						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
情報誌発行	式	1	1	1	1	1	－
<実績>	部	2,640	2,575	2,390	2,490	2,500	－
22年度成果・課題	市民から提供される不用品の情報をもとに、毎月情報誌を発行して窓口に設置するとともに、各支所や図書館、文化会館などの施設に配布した。						
23年度成果・課題	同上						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	同上						

○再使用の啓発・支援

<取組15 リサイクル(再生利用)の推進>

○再生利用の推進

【ごみ処理基本計画策定事業】再掲P. 28

【再生資源回収事業】

環境部清掃事業課

再生資源回収事業		一般会計 4-2-1-040		全体実施期間		—		
予算科目		資源(古紙・古布・カン・ビン・ペットボトル・白色トレイ)回収業務委託						
事業の概要		資源(古紙・古布・カン・ビン・ペットボトル・白色トレイ)回収業務委託						
目標指標		過去値 (H21)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
市民一人一人当たり ごみ排出量		1,099 g	1,098 g	1,090 g	1,082 g	1,074 g	1,067 g	
<実績>			1,075 g	1,083g	1,069 g	1,056 g	1,043 g	
上記のうち資源回収量		203 g	202 g	206 g	210 g	268 g	272 g	
<実績>			201 g	194g	189 g	185 g	178 g	
計画事業量		単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
資源回収量		t	13,462	13,758	14,045	17,971	18,311	—
<実績>		t	13,348	12,899	12,491	12,512	12,019	—
拠点回収の実施		式	1	1	1	1	1	—
<実績>		式	1	1	1	1	1	—
22年度成果・課題		月2回の拠点回収により、資源を回収できる機会の増加を図った。						
23年度成果・課題		同上						
24年度成果・課題		週1回のステーション回収及び月2回の拠点回収により、引き続き資源を回収できる機会の増加を図った。						
25年度成果・課題		週1回のステーション回収及び月2回の拠点回収により、引き続き資源を回収できる機会の増加を図った。						
26年度成果・課題		週1回のステーション回収及び月2回の拠点回収により、引き続き資源を回収した。						

【家庭からの廃食用油のBDF化推進事業】※重点施策3-3

環境部清掃事業課

【家庭からの廃食用油のBDF化推進事業】本事業実施第5年		環境部情報部事業課					
予算科目	一般会計 4-2-2-080		全体実施期間	平成21年度～			
事業の概要	家庭廃食用油の回収、B D F 化						
目標指標	過去値 (H21)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
年間回収量	5850	5,4490	7,5000	10,0000	12,5000	15,0000	
<実 績>		4,9550	7,3000	9,3920	8,8390	10,0120	
市におけるB D F 燃料利用量	7000	1,8000	1,8000	1,8000	1,8000	1,8000	
<実 績>		7000	4000	2000	1000	2000	
回収実施町内会数	—	37件	75件	112件	150件	186件	
<実 績>		50件	53件	75件	80件	84件	
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
ステーション回収	式	1	1	1	1	1	—
<実 績>	式	1	1	1	1	1	—
22年度成果・課題	継続してBDFの使用に努めた。別の重機にBDFを入れたところ、BDFが原因と思われる故障が発生したため、BDFの使用の拡大ができなかった。						
23年度成果・課題	平成24年度から回収主体が緊急雇用事業から直営へ変更するので、体制づくりが急務となる。B D Fの使用は、重機により不具合が発生する場合があるので、使用の拡大ができなかった。						
24年度成果・課題	廃食用油の回収は、前年度より町内会数で22件増加し、年間回収量で2,0920増加したが、B D Fの利用は、重機の使用頻度の減少により、拡充できなかった。						
25年度成果・課題	廃食用油の回収は、前年度より町内会数で5件増加しましたが、年間回収量は5530減少しました。これは、御津町空き店舗活用事業の「夢屋」の営業日の減少によるものです。B D Fの利用は、重機の使用頻度の減少により、前年比1000減少しました。						
26年度成果・課題	廃食用油の回収は、前年度より町内会数で4件増加しました。それに伴い年間回収量も1,1730増加しました。また、B D Fの利用は、2000となりました。						

【有価物回収支援事業】			環境部清掃事業課				
予算科目	一般会計 4-2-1-050			全体実施期間		平成20年度～平成24年度	
事業の概要	市民団体による有価物回収（集団回収）への補助						
目標指標	過去値（H21）		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
市民一人1日当たり 有価物回収量	33.0 g		32.8 g	33.6 g	34.4 g	35.2 g	36.1 g
<実績>			33.0 g	31.9 g	31.8 g	29.7 g	29.1 g
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
有価物回収量	t	2,192	2,249	2,306	2,365	2,418	—
<実績>	t	2,212	2,115	2,100	2,010	1,969	—
22年度成果・課題	リサイクル意識の向上を図るため、年に2回以上の有価物回収を実施した町内会や学校、保育園など66団体に補助金を交付した。						
23年度成果・課題	同上。65団体に補助金を交付した。						
24年度成果・課題	同上。66団体に補助金を交付した。						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	同上。67団体に補助金を交付した。						

【バイオマス利用促進事業】※重点施策3-2				環境部清掃事業課			
予算科目	一般会計 4-2-5-010		全体実施期間		平成20年度～平成26年度		
事業の概要	剪定枝、刈草の堆肥化等資源化の為の施設新設・不燃物及び資源選別施設更新						
目標指標	過去値（H21）		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
市民1日一人当たり ごみ排出量	1,099 g		1,098 g	1,090 g	1,082 g	1,074 g	1,067 g
<実績>			1,075 g	1,083 g	1,069 g	1,056 g	1,043 g
上記のうち 刈草・剪定枝回収	—		—	—	—	—	60 g
<実績>			—	—	—	—	—
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
事業 実施計画策定	式	1	—	—	—	—	—
<実績>	式	1	—	—	—	—	—
測量、環境影響調査	式	1	1	—	—	—	—
<実績>	式	1	1	—	1	1	—
設計委託	式	—	—	—	1	1	—
<実績>	式	—	—	—	—	1	—
造成、建設工事	式	—	—	—	1	1	—
<実績>	式	—	—	—	—	—	—
22年度成果・課題	豊川市緑のリサイクルセンター（仮称）整備事業に係る生活環境影響調査業務実施測量・地質調査業務実施。施設整備地について地元の理解が必要である。						
23年度成果・課題	豊川市緑のリサイクルセンター（仮称）整備事業の施設整備地について地元の理解を得られなかったため、改めて施設候補地を選定する必要がある。						
24年度成果・課題	新たに施設整備地の検討を行い、候補地を絞り込み、最適と思われる候補地と地元調整を行った。						
25年度成果・課題	新たな施設整備地を選定し、施設建設にあたり生活環境影響調査業務、測量・地質調査業務を実施した。						
26年度成果・課題	施設整備用地を取得し、施設設計を委託した。						

【焼却灰資源化処理事業】

環境部清掃事業課

予算科目	一般会計 4-2-2-050		全体実施期間		平成23年度～		
事業の概要	一宮最終処分場埋立終了への整地工事と焼却灰の資源化処理						
目標指標	過去値 (H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
焼却灰資源化処理量	—		—	2,100 t	2,100 t	2,100 t	2,100 t
＜実 績＞			—	0t	0t	0t	0t
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
整地工事	式	—	1	1	—	—	—
＜実 績＞	式	—	1	1	—	—	—
焼却灰資源化業務委託	式	—	—	1	1	1	—
＜実 績＞	式	—	—	—	1	1	—
22年度成果・課題	焼却灰資源化処理開始に向けて業務委託先等の調査・検討を行った。資源化処理への移行に当たっては、自己施設を持たずに民間企業へ全面的に委託する体制となるため、リスクを軽減する対策を講じる必要がある。						
23年度成果・課題	焼却灰の資源化処理とともに民間埋立処理についても検討を行った結果、事業の安定性・経済性の面から、埋立処理に方針を変更した。今後とも資源化処理の環境負荷や経済性について動向を把握し、検討していく必要がある。整地工事については、第1期分3,000㎡施工した。						
24年度成果・課題	平成24年7月13日に民間施設における埋立処理を開始し、1,440 t の処理を行った。整地工事については、第2期分5,600㎡を施工したが、残余の埋立地の利用方法が確定していないため、最終的な整地工事の目途が立っていない。						
25年度成果・課題	民間施設における埋立処理を継続し、1,858 t の処理を行った。処分場周辺環境保全のため浸出処理水の放流先を公共下水道に変更するべく、放流管渠の布設を行ったが、残余の埋立地の利用方法について地元との合意を得るに至っていない。						
26年度成果・課題	民間施設における埋立処理を継続し、2,000 t の処理を行った。						

○再生利用の啓発・支援

【再生利用啓発事業】

環境部清掃事業課

予算科目	一般会計 4-2-1			全体実施期間		—	
事業の概要	施設見学やごみ分別説明会、リサイクル講座の実施						
目標指標	過去値（H21）		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
講座等の参加者数	4,808人		4,582人	5,632人	6,747人	7,862人	8,984人
<実績>			5,001人	6,256人	5,493人	4,483人	4,320人
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
施設見学	回	56	70	84	98	112	—
<実績>	回	80	79	76	73	59	—
ごみ分別説明会	回	21	25	30	35	42	—
<実績>	回	22	21	15	11	16	—
リサイクル講座	回	5	5	5	5	5	—
<実績>	回	5	2	2	2	2	—
22年度成果・課題	ごみの分別方法の周知徹底を図るため、依頼のあった町内会で説明会を開催した。また、小学4年生の社会科の授業の一環として、希望のあった小学校で出前講座や施設見学を実施した。						
23年度成果・課題	同上						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	同上						

【バイオマス利活用畜産振興事業】

産業部農務課

予算科目	— (国費直接補助)			全体実施期間		平成15年度～	
事業の概要	食品残渣の飼料化取り組みの支援（JAひまわりとの協働）						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
事業啓発・支援	式	1	1	1	1	1	—
<実績>	式	1	1	1	1	1	—
22年度成果・課題	平成20年から実施してきたJAひまわり農協のエコフィード(食物残さ)実証試験について、平成23年3月に報告会を開催した。今後は、畜産農家を含めた事業化が課題である。						
23年度成果・課題	豊川宝飯地域農業研究・普及協議会の会員となり地域全体の食品残さの飼料化ネットワークの構築を図る。産業廃棄物処理業者と養豚業者が2戸飼料化ネットワークに参画した。						
24年度成果・課題	豊川宝飯地域農業研究・普及協議会の会員となり地域全体の食品残さの飼料化について研究、推進した。産業廃棄物処理業者と養豚業者が3戸飼料化ネットワークに参画した。						
25年度成果・課題	豊川宝飯地域農業研究・普及協議会の会員となり地域全体の食品残さの飼料化について研究、推進した。引き続き、産業廃棄物処理業者と養豚業者が3戸飼料化ネットワークに参画した。						
26年度成果・課題	同上						

環境目標⑦ ごみをきちんと処理しよう
 <取組16 廃棄物処理施設の整備推進>
 ○廃棄物処理施設の整備
 【廃棄物処理施設整備事業】※重点施策3-2
 バイオマス利用促進事業に同じ P.34

【清掃工場整備事業】			環境部清掃事業課				
予算科目	一般会計 4-2-3-010			全体実施期間		平成22年度～	
事業の概要	清掃工場の延命化のための計画策定、基幹改良工事等						
目標指標	過去値 (H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
清掃工場焼却量 (再処理を除く)	53, 579 t		53, 584 t	52, 849 t	52, 130 t	47, 794 t	46, 917 t
<実 績>			53, 170 t	54, 254 t	53, 604 t	54, 495 t	54, 794 t
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
長寿命化計画策定	式	—	1	1	—	—	—
<実 績>	式	—	—	—	1	1	—
修繕・整備工事	式	1	1	1	1	1	—
<実 績>	式	1	1	1	1	1	—
22年度成果・課題	焼却量の内訳は、一般（粗大残渣を除く）16, 692 t、 収集36, 477 t、 医療系 1 t。						
23年度成果・課題	焼却量の内訳は、一般（粗大残渣を除く）17, 001 t、 収集37, 252 t、 医療系 1 t。						
24年度成果・課題	25年度に清掃工場の長寿命化計画を策定し、延命化に必要な事業の選択を行い、今後必要な事業費を把握する。						
25年度成果・課題	長寿命化計画を策定した。今後26年度に工事発注仕様書の作成を行う。						
26年度成果・課題	工事発注仕様書の作成を行った。平成27年度からA棟及びB棟の基幹的設備改良工事を実施する。						

【バイオマス利用促進事業】再掲P.34

<取組17 廃棄物の適正な処理の推進>

〇ごみの適正処理の推進

【資源持ち去り及びポイ捨て防止事業】

環境部清掃事業課

予算科目	一般会計 4-2-1-020、100			全体実施期間		平成22年度～平成24年度	
事業の概要	罰則規定のある条例制定、定期パトロールによる指導啓発						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
防止事業	式	1	1	1	—	—	—
<実績>	式	1	1	1	1	1	—
22年度成果・課題	資源の持ち去り行為やポイ捨て行為を禁止するため、職員による定期パトロールを行い、発見した違反者に対し、勧告、命令をして改善を求め、命令に従わなかった場合に過料を科した。						
23年度成果・課題	同上						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	資源の持ち去り行為やポイ捨て行為を防止するため、職員による定期パトロールを行い、違反者を発見した場合には勧告等を行い、改善を求めた。						
26年度成果・課題	同上						

【ごみ運搬車両「リサイクル21」貸出事業】

環境部清掃事業課

【ごみ運搬車両（トラック）の貸出事業】								環境部情報事業課	
予算科目	一般会計 4-2-1-040			全体実施期間		—			
事業の概要	ごみ運搬車両の市民・町内会への貸出								
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画		
ごみ運搬車両貸出	式	1	1	1	—	—	—		
<実績（貸出件数）>	件	1,199	1,276	1,292	1,276	1,286	—		
22年度成果・課題	家庭から出る粗大ごみの自己搬入を推進するため、軽トラックの貸出を実施した。また、リサイクルの推進のため、有価物回収実施団体へも貸出を行った。								
23年度成果・課題	同上								
24年度成果・課題	同上								
25年度成果・課題	同上								
26年度成果・課題	同上								

【ごみカレンダー作成・配布事業】

環境部清掃事業課

予算科目	一般会計 4-2-1-020			全体実施期間		—	
事業の概要	カレンダーの作成・配布（日本語・ポルトガル語・スペイン語・中国語・英語）						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
カレンダー作成・配布	式	1	1	1	—	—	—
<実績（作成部数）>	部	75,100	77,000	77,000	77,000	77,000	—
22年度成果・課題	希望者に旧豊川・宝飯地区、外国語版のごみカレンダーを窓口で直接配布するとともに、町内会やアパートの管理会社等を通じて住民に配布した。						
23年度成果・課題	同上						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	同上						

【再生資源回収事業】再掲P.31

○不法投棄ごみ収集対策事業

【不法投棄ごみ収集対策事業】

環境部清掃事業課

予算科目	一般会計 4-2-2-040			全体実施期間		平成18年度～	
事業の概要	不法投棄防止のための監視カメラの設置及び不法投棄ごみの処理						
目標指標	過去値 (H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
不法投棄年間件数	657件		525件	500件	475件	450件	425件
<実績>			580件	1,035件	586件	459件	491件
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
対策事業	式	1	1	1	1	1	—
<実績>	式	1	1	1	1	1	—
監視カメラ新規購入	台	3	—	3	—	—	12
<実績>	台	3	—	3	—	—	—
22年度成果・課題	新たに監視カメラを3台購入し、計9台を不法投棄の多い高速道路沿いの側道や違反ごみの多いステーションに設置し、不法投棄防止に努めた。						
23年度成果・課題	9台の監視カメラを、不法投棄の多い高速道路沿いの側道や違反ごみの多いステーションに設置し、不法投棄防止に努めた。また、緊急雇用創出事業の活用により不法投棄が多い地域を重点的にパトロールし回収に努めた。						
24年度成果・課題	従来の9台の監視カメラに加え、3台の監視カメラを購入し、不法投棄の多い人気のない場所や高速道路沿いの側道及び違反ごみの多いステーションに設置し不法投棄防止に努めた。						
25年度成果・課題	不法投棄の多い東名高速道路沿いの側道や山間部及び違反ごみの多いステーションに12台の不法投棄監視カメラを設置するとともに、不法投棄防止看板を設置しました。また不法投棄回収及びパトロールの専任職員を配置しました。						
26年度成果・課題	不法投棄の多い山間部及び違反ごみの多いステーションを中心に12台の不法投棄監視カメラを設置しました。不法投棄防止の効果を上げるため看板を設置しましたが、不法投棄件数は前年度より32件増加しました。						

【散乱ごみ回収運動「豊川市清掃の日」事業】再掲P. 51

【アダプトプログラム事業】再掲P. 52

環境目標⑧ 空・水・土を守り、健康な暮らしを保とう

＜取組１８ 大気汚染や騒音などの防止＞

○大気や騒音・振動の調査

【大気汚染対策事業】

環境部環境課

予算科目	一般会計 4-1-8-030			全体実施期間		—	
事業の概要	県との連携による大気環境測定等の実施						
目標指標	過去値 (H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
光化学オキシダント	環境基準未達成		未達成	—	—	—	達成
＜実績＞			未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
大気環境測定	式	1	1	1	1	1	—
＜実績＞	式	1	1	1	1	1	—
大気ダイオキシン類測定	式	1	1	1	1	1	—
＜実績＞	式	1	1	1	1	1	—
22年度成果・課題	光化学オキシダントの問題は、豊川市で取るべき対策がない。						
23年度成果・課題	同上						
24年度成果・課題	光化学オキシダントの問題は、国・県等の関係機関に働きかける。						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	同上						

【騒音・振動対策事業】

環境部環境課

予算科目	一般会計 4-1-8-040			全体実施期間		—	
事業の概要	精密騒音や普通騒音等の測定実施						
目標指標	過去値 (H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
環境騒音	環境基準未達成		未達成	—	—	—	達成
＜実 績＞			未達成	未達成	達成	達成	達成
新幹線騒音	環境基準未達成		未達成	—	—	—	達成
＜実 績＞			未達成	未達成	未達成	未達成	達成
自動車騒音	環境基準未達成		未達成	—	—	—	達成
＜実 績＞			未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
騒音・振動測定	式	1	1	1	1	1	—
＜実 績＞	式	1	1	1	1	1	—
22年度成果・課題	騒音については、国・県等の関係機関に働きかける。						
23年度成果・課題	同上						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	同上						

○道路施設の改善

【都市計画道路改良事業】再掲P. 6

【交差点改良事業】再掲P. 6

○大気汚染防止対策の推進

○緑化の推進（再掲）P. 13

○騒音・振動防止の指導

○施設改善への助成

【公害防除施設整備資金利子補給事業】

環境部環境課

予算科目	一般会計 4-1-10-901			全体実施期間		一	
事業の概要	公害防止の施設改善に対する資金の利子補給						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
公害防除施設 整備資金利子補給	式	1	1	1	1	1	—
<実績（件数）>	件	3	1	1	1	1	—
22年度成果・課題	公害防止のために、制度の周知を図る必要がある。						
23年度成果・課題	同上						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	同上						

- 土地利用の適正化
- 公共交通機関利用の促進（再掲）P. 8
- 自転車利用の促進（再掲）P. 9
- エコカー・エコドライブの推進（再掲）P. 11
- 生活騒音の防止

<取組19 水質汚濁の防止>

○公共下水道の整備

【公共下水道整備事業（国庫補助・単独・特定環境保全）】※重点施策2-4

上下水道部下水整備課

予算科目	公共下水道特別会計 2-1-1-101、103、104			全体実施期間		—	
事業の概要	第8次、第9次ほか下水道拡張整備事業（設計・工事・補償等）						
目標指標	過去値（H21）		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
公共下水道普及率	71.2%		72.0%	74.0%	75.0%	77.0%	78.0%
＜実績＞			71.9%	72.6%	73.9%	74.8%	76.3%
公共下水道接続率	93.1%		93.0%	93.0%	93.0%	93.0%	93.0%
＜実績＞			90.7%	90.9%	91.2%	91.5%	91.9%
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
国庫補助 公共下水道築造工事	ha	55	49	55	46	52	394
＜実績＞	ha	25	51	53	45	49	—
単独 公共下水道築造工事	ha	3	3	3	4	3	35
＜実績＞	ha	2	7	7	5	16	—
特定環境保全 公共下水道築造工事	ha	11	7	7	7	1	105
＜実績＞	ha	9	7	8	4	3	—
22年度成果・課題	第9次拡張区域に着手して間もないことから、汚水幹線の整備が優先となり、目標値に届いていない状況である。しかし、目標指標の一つである普及率については概ね達成することができ、公共用水域の水質改善に寄与した。						
23年度成果・課題	汚水幹線整備の優先により、整備済みとして計上できる面積が小さかった地区（特に新市民病院等を含む白鳥地区）においても、面整備として計上できる状態になり、目標を達成できている。						
24年度成果・課題	汚水幹線整備の進捗に伴い、面整備が行える状態になり、概ね目標を達成できている。25年度より新規地区についても一部事業の着手を行う。						
25年度成果・課題	新規地区に着手を始めたことから、汚水幹線整備が優先となり、普及率の伸びが少ない。今後は、面整備を行うことができるため、普及率の向上を目指す。						
26年度成果・課題	公共下水道整備総面積については、目標値を達成できているが、普及率については、目標値を達成できていない。引き続き、面整備を行うことで普及率の向上を目指す。						

○生活排水対策の啓発・支援

【生活排水対策推進事業】

環境部環境課

予算科目	一般会計 4-1-10-050			全体実施期間		—	
事業の概要	生活排水対策の啓発(学習会・エコクッキング講座・啓発資材の配布)						
目標指標	過去値 (H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
学習会参加者数	301人		247人	300人	300人	300人	300人
<実績>			247人	286人	113人	276人	134人
エコクッキング講座参加者数	35人		40人	40人	40人	40人	40人
<実績>			40人	30人	18人	13人	16人
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
学習会(出前講座等)	回	3	5	5	5	5	—
<実績>	回	5	5	5	6	6	—
啓発資材の配布	個	500	500	500	500	500	—
<実績>	個	500	500	500	500	500	—
エコクッキング講座	回	1	1	1	1	1	—
<実績>	回	1	1	1	1	1	—
22年度成果・課題	生活排水対策については、河川水質自体は当市の環境目標値を達成しており、今後も排水対策として事業実施をしていくべきかが課題。						
23年度成果・課題	出前講座（児童クラブ2回、小学校3回）や、市民祭等での啓発資材の配布を実施するとともに、生活排水クリーン推進員を任命しエコクッキング講座や生活排水学習会を開催するなど、普及啓発を図った。						
24年度成果・課題	出前講座（児童クラブ5回95人）や、市民祭等での啓発資材の配布を実施するとともに、生活排水クリーン推進員を任命しエコクッキング講座や生活排水学習会（18人）を開催するなど、普及啓発を図った。						
25年度成果・課題	出前講座（児童クラブ3回54人、小学校2回209人）や、市民祭等での啓発資材の配布を実施するとともに、生活排水クリーン推進員を任命しエコクッキング講座（13人）を開催するなど、普及啓発を図った。						
26年度成果・課題	出前講座（児童クラブ6回118人）や、市民祭等での啓発資材の配布を実施するとともに、生活排水クリーン推進員を任命しエコクッキング講座（16人）を開催するなど、普及啓発を図った。						

○合併処理浄化槽の普及・啓発

【浄化槽普及事業】※重点施策2-4

環境部環境課

予算科目	一般会計 4-1-10-090		全体実施期間		—		
事業の概要	浄化槽設置費の補助						
目標指標	過去値 (H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
生活排水処理率	81.3%		82.8%	84.3%	85.8%	87.1%	88.5%
<実績>			84.2%	86.3%	87.5%	88.3%	89.8%
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
浄化槽整備費補助	基	31	31	31	31	31	—
<実績>	基	14	16	13	12	13	—
22年度成果・課題	補助制度について、広く周知を図る必要がある。						
23年度成果・課題	同上						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	同上						

○水質の調査・監視

【水質汚濁対策事業】

環境部環境課

予算科目	一般会計 4-1-10-020			全体実施期間		—	
事業の概要	河川水質調査等、公共用水域の水質汚濁監視						
目標指標	過去値 (H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
佐奈川(前川橋)水質 BOD75%	3.7mg/ℓ		6.0mg/ℓ 以下	6.0mg/ℓ 以下	6.0mg/ℓ 以下	6.0mg/ℓ 以下	6.0mg/ℓ 以下
<実 績>			2.2mg/ℓ	2.4mg/ℓ	1.7mg/ℓ	4.2mg/ℓ	3.0mg/ℓ
音羽川(南田橋)水質 BOD75%	1.4mg/ℓ		2.0mg/ℓ 以下	—	—	—	2.0mg/ℓ 以下
<実 績>			1.8mg/ℓ	0.6mg/ℓ	0.9mg/ℓ	1.0mg/ℓ	1.7mg/ℓ
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
河川水質検査	式	1	1	1	1	1	—
<実 績>	式	1	1	1	1	1	—
河川ダイオキシン類測定	式	1	1	1	1	1	—
<実 績>	式	1	1	1	1	1	—
工場排水調査	式	1	1	1	1	1	—
<実 績>	式	1	1	1	1	1	—
22年度成果・課題	すでに目標値は達成しており、引き続き監視していく。						
23年度成果・課題	同上						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	同上						

○水質汚濁防止の指導

○水質汚濁防止への助成

【公害防除施設整備資金利子補給事業】再掲P.38

<取組 20 悪臭・土壌汚染・地下水汚染などの防止>

○悪臭防止に向けた指導・啓発

○土壌汚染・地下水汚染防止に向けた指導・啓発

【農地・水・環境保全向上対策事業】再掲P. 23

○悪臭防止への助成

【公害防除施設整備資金利子補給事業】再掲P. 38

環境目標⑨ 快適でゆとりある生活空間をつくろう

＜取組２１ ゆとりある生活空間の形成＞

○ゆとりある生活空間の整備

【豊川駅東土地区画整理事業】

建設部区画整理課

予算科目	豊川駅東土地区画整理事業 特別会計 2-1-1-010			全体実施期間		平成7年度～平成31年度	
事業の概要	豊川駅東土地区画整理事業						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
区画整理事業整地	ha	1.3	0.8	1.2	0.4	0.8	15.6
<実績>	ha	1.4	0.7	1.3	1.0	1.1	—
22年度成果・課題	姫街道線アンダー化工事の整備予定が不明瞭であるため、移転交渉に苦慮している。						
23年度成果・課題	都市計画道路豊川牧野線、同三明線及びその周辺区域の整備を主に実施した。姫街道線アンダー化工事の整備予定が不明瞭であるため、移転交渉に苦慮している。						
24年度成果・課題	都市計画道路三明線、区画道路及びその周辺区域の整備を中心に実施した。住宅密集地の移転が多く、また、姫街道線アンダー化工事の整備が不明瞭な事で、整備計画に苦慮している。						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	区画道路及びその周辺区域の整備を中心に実施した。住宅密集地の移転が多く、また、姫街道線アンダー化工事の整備が不明瞭な事で、整備計画に苦慮している。						

【豊川西部土地区画整理事業】

建設部区画整理課

豊川西部土地区画整理事業	定数部区画整理事業						
予算科目	豊川西部土地区画整理事業 特別会計 2-1-1-010			全体実施期間		平成7年度～平成32年度	
事業の概要	豊川西部土地区画整理事業						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
区画整理事業整地	ha	3	2	5	4	3	35
＜実 績＞	ha	2	3.3	2.8	3.8	2.3	－
22年度成果・課題	都市計画道路姫街道線、上宿樽井線及び大池線の周辺区域の整備を主に実施した。経済環境の悪化が、保留地処分金に悪影響を与えることが懸念される。						
23年度成果・課題	都市計画道路姫街道線、上宿樽井線、大池線及びその周辺区域の整備を主に実施した。経済環境の悪化が、保留地処分金に悪影響を与えることが懸念される。						
24年度成果・課題	都市計画道路大池線の整備及びその周辺区域の区画道路築造工事・整地工事を中心に実施した。主な財源である保留地処分金の確保について、その販売方法を工夫していく必要がある。						
25年度成果・課題	都市計画道路八幡線の整備及びその周辺区域の区画道路築造工事・整地工事を中心に実施した。主な財源である保留地処分金の確保について、その販売方法を工夫していく必要がある。						
26年度成果・課題	都市計画道路八幡線、大池線の整備及びその周辺区域の区画道路築造工事・整地工事を中心に実施した。主な財源である保留地処分金の確保について、その販売方法を工夫していく必要がある。						

【一宮大木土地地区画整理事業支援事業】

建設部一宮地区建設課

予算科目	一般会計 8-5-2-050			全体実施期間		～平成29年度	
事業の概要	一宮大木土地地区画整理組合へ一般会計から補助						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
組合助成金	式	1	1	1	1	1	－
<実績>	千円	20,000	93,000	316,380	397,485	200,000	－
22年度成果・課題	仮換地(案)の個別説明会の開催、各種規程・基準の決定、割込み(案)の最終調整を行った。今後は、換地指定の同意を得る必要がある。						
23年度成果・課題	仮換地指定を行い、1号調整池築造工事と側溝工事に伴う工作物補償を実施した。工事区域と移転補償との調整が必要になる。						
24年度成果・課題	事業計画変更をし、未指定区域の仮換地指定を行った。道路築造、宅地造成工事を行い、建物移転補償を行った。予算の確保が問題になる。						
25年度成果・課題	道路築造、宅地造成工事を行い、建物移転補償を行った。保留地処分および清算金における徴収・交付を円滑に進めることを課題とする。						
26年度成果・課題	道路築造、宅地造成工事、建物移転補償、仮清算金の説明会を行った。仮清算金滞納者への対応が課題である。						

【公共交通機関へのアクセス整備事業(バリアフリー化)】再掲P.7

【市内道路改良事業】再掲P.10

○公園の整備

【都市公園整備事業】再掲P.12

【公園整備事業】再掲P.13

＜取組２２ 人と自然がふれあえる空間の整備＞

○自然とふれあう場の整備

【県費補助緑化推進事業】

建設部道路維持課

【不買品】緑化推進事業		一般会計 8-5-7-010		全体実施期間		平成20年度～平成26年度		
予算科目		桜トンネル再生整備						
事業の概要		桜トンネル再生整備						
計画事業量		単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
植栽等工事		式	1	1	1	—	—	—
<実績>		式	1	1	1	1	1	—
22年度成果・課題		14本の植替えを行い、計画に沿って桜トンネルの再生整備を行った。						
23年度成果・課題		38本の植替えを行い、計画に沿って桜トンネルの再生整備を行った。						
24年度成果・課題		24本の植替えを行い、計画に沿って桜トンネルの再生整備を行った。						
25年度成果・課題		17本の植替えを行い、計画に沿って桜トンネルの再生整備を行った。						
26年度成果・課題		27本の植替えを行い、計画に沿って桜トンネルの再生整備を行った。						

【都市公園整備事業】再掲P. 12

【市民小菜園管理運営事業】再掲P. 25

○自然のネットワークの整備

○水に親しめる空間の整備

【佐奈川河川環境整備事業】

建設部道路維持課

予算科目	一般会計 8-3-1-020			全体実施期間		平成21年度～平成27年度	
事業の概要	佐奈川河川敷を利用した散策路の整備						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
整備工事	式	1	1	—	—	1	—
<実績>	式	1	1	—	—	1	—
22年度成果・課題	計画ではベンチ20か所、階段30か所、蓋設置工12か所のうちベンチ15か所、階段20か所、蓋6か所が完了した。						
23年度成果・課題	計画では、ベンチ20か所、階段30か所、蓋設置12か所のうち設置不可能5か所となり7か所となったが、ベンチ20か所、階段30か所、蓋7か所が完了し、事業が完了した。						
24年度成果・課題	佐奈川河川敷内における新たな散策路の整備計画の検討を行った。						
25年度成果・課題	新たに散策路整備事業として2ケ年度で佐奈川橋から新川橋まで800m区間の整備を行う計画を策定した。						
26年度成果・課題	散策路の整備工事は、佐奈川橋から下流300m区間が完了しました。						

○自然とふれあう活動の啓発・支援

【生物多様性保全事業】再掲P. 19

【環境学習推進事業】再掲P. 54

環境目標⑩ 豊川らしさを保ち、育もう
 <取組23 歴史的遺産の保存と活用>

○歴史的遺産の保存と活用

【三河国分寺跡土地買上事業】

教育委員会生涯学習課

予算科目	一般会計 10-4-2-030			全体実施期間		昭和60年度～	
事業の概要	三河国分寺跡の公有地化						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
用地購入	式	1	1	1	1	1	—
<実績>	m ²	1,071.8	1,170.2	1,022.1	2,145.1	1,075.5	—
22年度成果・課題	史跡指定地1,071.8m ² の土地買上げを行い、史跡全体の公有化率が66.2%となった。今後、公有地の有効活用が課題である。						
23年度成果・課題	史跡指定地1,170.24m ² の土地買上げを行い、史跡全体の公有化率が68.7%となった。今後、公有地の有効活用が課題である。						
24年度成果・課題	史跡指定地1,022.17m ² の土地買上げを行い、史跡全体の公有化率が71.2%となった。今後、公有地の有効活用が課題である。						
25年度成果・課題	史跡指定地2,145.19m ² の土地買上げを行い、史跡全体の公有化率が76.1%となった。今後、公有地の有効活用が課題である。						
26年度成果・課題	史跡指定地1,075.54m ² の土地買上げを行い、史跡全体の公有化率が78.8%となった。今後、公有地の有効活用が課題である。						

【三河国分寺跡整備事業】

教育委員会生涯学習課

予算科目	一般会計 10-4-2-070			全体実施期間		昭和60年度～平成34年度	
事業の概要	三河国分寺跡を活用したソフト関連事業						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
整備工事	式	—	1	—	—	—	—
<実績>	式	—	1	—	—	—	—
22年度成果・課題							
23年度成果・課題	仮設案内板・説明板の設置や史跡案内パンフレット作成により、史跡の有効活用のための環境整備を行うことができた。						
24年度成果・課題	平成23年度の単年度事業のため実績なし。						
25年度成果・課題							
26年度成果・課題							

【文化財ネットワーク事業】

教育委員会生涯学習課

予算科目	一般会計 10-4-2-075		全体実施期間		平成23年度～平成26年度		
事業の概要	道路案内・文化財説明サイン等の整備、文化財めぐりの実施						
目標指標	過去値 (H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
文化財説明板設置数	142基		142基	145基	148基	151基	155基
<実績>			142基	145基	148基	151基	155基
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
サイン整備工事	式	—	1	1	1	1	—
<実績>	式	—	1	1	1	1	—
文化財めぐり実施	回	1	1	1	1	1	—
<実績>	回	1	1	1	3	1	7
見学資料の作成	式	—	1	1	1	1	—
<実績>	部	—	1	—	—	—	1
22年度成果・課題	文化財めぐりを11月6日実施、18名参加。三河国分尼寺跡史跡公園周辺の史跡や文化財を参加者に周知する良い機会になった。市域全体から多くの参加者を呼び込むための工夫が必要である。						
23年度成果・課題	名鉄国府駅から三河国分尼寺跡史跡公園までの歩行者用の案内標柱及び周辺文化財の説明板設置により、駅から公園までの往復や周辺の文化財を活用するネットワーク環境の整備が促進した。市内の戦国時代の名所・旧跡をまとめた案内パンフレットを作成したことにより、合併により広がった市域にある文化財のネットワーク化を進めることができた。						
24年度成果・課題	名鉄国府駅から三河国分尼寺跡史跡公園までの歩行者用の案内標柱及び周辺文化財の説明板設置により、駅から公園までの往復や周辺の文化財を活用するネットワーク環境の整備が促進した。見学資料については、印刷製本費が予算措置できなかったため、作成していない。						
25年度成果・課題	名鉄国府駅・名電赤坂駅から旧東海道御油・赤坂宿方面への歩行者用の案内標柱及び文化財説明板を設置した。これにより、駅から旧東海道方面への往復や文化財を活用するネットワーク環境の整備が促進した。						
26年度成果・課題	文化財説明板を設置し、文化財を活用したネットワーク環境の整備が促進した。						

【御油松並木保存整備事業】再掲P. 19

【御油松並木景観整備事業】再掲P. 20

○歴史的遺産の保護の啓発・支援

【文化財保護啓発事業】

教育委員会生涯学習課

予算科目	一般会計 10-4-2-080			平成18年度～			
事業の概要	意識啓発を目的とした各種講座の実施						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
ふるさと再発見講座	回	4	4	4	4	4	—
＜実 績＞	回	4	4	4	4	4	—
親子文化財教室	回	2	2	2	2	2	—
＜実 績＞	回	2	2	2	2	2	—
ボランティアガイド養成講座	回	1	—	—	1	—	—
＜実 績＞	回	1	—	1	—	—	—
天平の里資料館自主事業	回	11	11	11	11	11	—
＜実 績＞	回	11	12	12	13	11	—
22年度成果・課題	参加者数は、ふるさと再発見講座93名、親子文化財教室43名、ボランティア養成講座1名、自主事業164名。小学生を対象とした事業への参加者が増え、史跡公園の認知度は高まっている。一般や今まで史跡公園に来る機会のない人たちを呼び込むような魅力ある講座内容を加える必要がある。						
23年度成果・課題	参加者数は、ふるさと再発見講座84名、親子文化財教室42名、自主事業132名。今まで史跡公園に来る機会のない人たちを呼び込むようなさらなる工夫が必要である。						
24年度成果・課題	参加者数は、ふるさと再発見講座101名、親子文化財教室 8 組、自主事業129 名。ボランティアガイド養成講座には7名の参加があり、平成25年度より史跡公園のボランティア活動に参加している。						
25年度成果・課題	参加者数は、ふるさと再発見講座109名、親子文化財教室 9 組、自主事業193 名。今まで史跡公園に来る機会のない人たちを呼び込むようなさらなる工夫が必要である。						
26年度成果・課題	参加者数は、ふるさと再発見講座124名、親子文化財教室 9 組、自主事業151 名。今まで史跡公園に来る機会のない人たちを呼び込むようなさらなる工夫が必要である。						

○伝統文化の継承への支援

【伝統芸能交流事業】

教育委員会生涯学習課

予算科目	一般会計 10-4-2-100			全体実施期間		平成20年度～	
事業の概要	市内の各種伝統芸能や伝統文化の公開及び交流事業						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
交流事業	式	1	1	1	1	1	—
<実 績>	件	1	1	1	1	1	—
22年度成果・課題	市民にとっては、日ごろ目にすることの少ない伝統芸能に接する機会になったとともに、保存団体の励みにもなった。しかし、保存活動の継続には様々な課題を抱えている。						
23年度成果・課題	日ごろ目にすることの少ない伝統芸能に接する機会を提供できたとともに、伝統芸能の継承支援を図ることができた。保存団体の今後の継続のあり方が課題である。						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	同上						

○文化施設の充実

【桜ヶ丘ミュージアム改修事業】

市民部文化振興課

予算科目	一般会計			全体実施期間		平成24年度～平成26年度	
事業の概要	施設の機能拡充を目的とした改修						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
実施設計	式	—	—	1	—	—	—
＜実 績＞	式	—	—	1	—	—	—
改修工事	式	—	—	—	1	1	—
＜実 績＞	式	—	—	—	1	1	—
オープニングイベント	式	—	—	—	—	1	—
＜実 績＞	千円	—	—	—	—	835	835
22年度成果・課題							
23年度成果・課題	改修内容及び方向性の検討実施。 課題：市民ニーズの対応と施設の老朽化						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	改修工事着工。課題：改修後の開館時の事業と市民への対応						
26年度成果・課題	改修工事完了。平成27年1月17日リニューアルオープン。						

【文化財ネットワーク事業】再掲P.48

○文化活動の支援

【豊川文化協会事業への支援事業】

市民部文化振興課

予算科目	一般会計 2-1-21-020		全体実施期間			—	
事業の概要	事業実施のための補助金						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
事業支援	式	1	1	1	1	1	—
＜実 績＞	千円	13,856	14,346	15,472	15,301	14,843	—
22年度成果・課題	人件費補助10,222千円、事業費補助3,634千円（芸術祭、自主文化事業、講座等の開催） 課題：組織強化、自主事業の充実						
23年度成果・課題	人件費補助10,697千円、事業費補助3,649千円（芸術祭、自主文化事業、講座等の開催） 課題：組織強化、自主事業の充実						
24年度成果・課題	人件費補助11,323千円、事業費補助4,149千円（芸術祭、自主文化事業、講座等の開催） 課題：組織強化、自主事業の充実						
25年度成果・課題	人件費補助11,342千円、事業費補助3,959千円（芸術祭、自主文化事業、講座等の開催） 課題：組織強化、自主事業の充実						
26年度成果・課題	人件費補助10,734千円、事業費補助4,109千円（芸術祭、自主文化事業、講座等の開催） 課題：組織強化、自主事業の充実						

＜取組２４ 良好な景観の形成＞

○都市景観の形成

【施設案内標識整備事業】

建設部道路維持課

【施設案内標識整備事業】建設部道路維持課

予算科目	一般会計 8-2-1-010			全体実施期間		平成22年度～平成26年度	
事業の概要	市域の拡大に伴う案内表示板の誘導・整備						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
新設・修繕	基	4	20	30	23	7	103
<実績>	基	4	91	22	41	7	165
22年度成果・課題	計画に沿って案内表示板の整備を行うことにより、都市景観について一定の成果が見られた。						
23年度成果・課題	昨年度に引き続き、計画に沿った案内表示板の整備を行い、都市景観について一定の成果が見られた。						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	同上						

【文化財ネットワーク事業】再掲P. 48

○景観形成に関する啓発

○昔ながらの景観の保全

＜取組11 農地の保全＞再掲P. 22

○環境の美化

【放置自転車対策推進費】

市民部人権交通防犯課

【放置自転車対策推進費】

市民部六權交通防犯課

予算科目	一般会計 2-1-14-060		全体実施期間		平成23年度～		
事業の概要	放置自転車監視パトロール及び撤去・移動						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
監視パトロール 及び撤去・移動事業	式	—	1	1	1	1	—
<実績>	台	—	907	943	854	714	—
22年度成果・課題							
23年度成果・課題	7月から3月までに907台の放置自転車を撤去・移動を実施した。						
24年度成果・課題	4月から3月までに943台の放置自転車を撤去・移動を実施した。						
25年度成果・課題	4月から3月までに854台の放置自転車を撤去・移動を実施した。						
26年度成果・課題	4月から3月までに714台の放置自転車を撤去・移動を実施した。						

【散乱ごみ回収運動「豊川市清掃の日」事業】

環境部清掃事業課

【散乱ごみの回収運動「豊川市清掃の日」事業】	一般会計 4-2-1-060		全体実施期間		平成18年度～		
予算科目	事業の概要						
事業の概要	年2回の散乱ごみ回収運動「豊川市清掃の日」実施						
目標指標	過去値(H21)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
参加者数	50,594人	54,141人	55,500人	57,000人	58,500人	60,000人	
<実績>		54,141人	55,487人	53,465人	55,659人	55,972人	
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
「清掃の日」実施	式	1	1	1	1	1	—
<実績>	式	1	1	1	1	1	—
22年度成果・課題	5月末と9月末の日曜日を中心に町内会及び事業所に協力依頼をし、約33トンの散乱ごみ等を回収した。						
23年度成果・課題	5月末と9月末の日曜日を中心に町内会及び事業所に協力依頼をし、約31トンの散乱ごみ等を回収した。						
24年度成果・課題	5月末と9月末の日曜日を中心に町内会及び事業所に協力依頼をし、約28トンの散乱ごみ等を回収した。						
25年度成果・課題	5月末と9月末の日曜日を中心に町内会及び事業所に協力依頼をし、約28トンの散乱ごみ等を回収した。						
26年度成果・課題	5月末と9月末の日曜日を中心に町内会及び事業所に協力依頼をし、約38トンの散乱ごみ等を回収した。						

【アダプトプログラム事業】

建設部道路維持課

予算科目	一般会計 8-1-1-110			全体実施期間		平成20年度～	
事業の概要	美化ボランティアによる道路の清掃(ごみ拾い等)						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
アダプトプログラム登録団体数	団体	51	70	80	90	100	—
<実績>	式	75	91	94	101	119	—
22年度成果・課題	市の広報誌及びFM豊橋により広報活動を実施した。アダプトプログラムという知名度がまだ十分でないため、今後もPRを重ねる必要がある。						
23年度成果・課題	団体登録数について、目標を上回ることが出来た。						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	団体登録数について、目標を上回ることが出来た。なお、高齢化等で既登録団体の脱退も少しずつでてきている。若返り等により団体存続がすすむことを期待する。						

【資源持ち去り及びポイ捨て防止事業】再掲P. 36

環境目標⑪ みんなで考え、行動しよう
 <取組25 環境教育・環境学習の推進>
 ○環境教育施設・環境学習施設の活用

【赤塚山公園管理運営事業】

建設部公園緑地課

予算科目	一般会計 8-5-6-010			全体実施期間		平成5年度～	
事業の概要	指定管理制度を活用し、豊川の身近な自然や生態系を学習する講座等を実施						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
管理運営委託	式	1	1	1	1	1	—
<実績>	式	1	1	1	1	1	—
22年度成果・課題	生物多様性等についての「赤塚山公園セミナー」(3回、参加者59名)、小学生を対象とする「サマースクール」(3回、参加者25名)や「夜の水族館」を始めとする各種イベント(4回、参加者774名)、企画展示等を実施した。また、機関誌「あかつかやま」を6回発行し、生物多様性等についての意識啓発を図った。その他、動物やウナギ、昆虫等にふれあう機会を提供した。						
23年度成果・課題	「赤塚山公園セミナー」(5回、参加者119名)、小学生を対象とする「サマースクール」(3回、参加者15名)や「夜の水族館」(参加者64名)、「ワクワク工房」(参加者117名)、「ミニブタ誕生会」(2回、参加者325名)。企画展示等の実施。また、機関誌「あかつかやま」を6回発行し啓発を図った。その他、動物や魚、昆虫等にふれあう機会を提供した。 「ふれあい」ぎょぎょランド307回、アニアニまある116回 カブトムシ 1回、クワガタ 1回開催						
24年度成果・課題	オリエンテーリング始め15事業(4,628名) 企画展「Dr. ガラ診療所」始め6事業 (135,680名) ワクワク工房3事業(363名) 赤塚山公園セミナー4事業(116名) ぎょぎょランド「ふれあい」事業134回(7,499名) 「ぱくぱくタイム」事業251回アニアニまある「ふれあい」事業357回 (22,871名) その他「ふれあい」事業 カブトムシのふれあい38回(1,971名) コイのエサやり14回(944名) 機関誌「あかつかやま」第38号～第43号発行 826部 おいでん祭 生き物展示他						
25年度成果・課題	赤塚山公園クイズ始め14事業(71,519名) 企画展「Dr. ガラ診療所」始め7事業 (237,097名) ワクワク工房2事業(189名) 赤塚山公園セミナー4事業(99名) ぎょぎょランド「ふれあい」事業143回(9,130名) 「ぱくぱくタイム」事業248回アニアニまある「ふれあい」事業211回 (20,558名) その他「ふれあい」事業 カブトムシのふれあい13回(1,136名) コイのエサやり14回(944名) 機関誌「あかつかやま」第44号～第49号発行 823部 おいでん祭 生き物展示他						
26年度成果・課題	赤塚山公園クイズ始め13事業(102,583名)、企画展「Dr. ガラ診療所」始め7事業 (174,692名)、赤塚山公園セミナー始め2事業(36名) ぎょぎょランド「ふれあい」事業141回(9,917名)、「ぱくぱくタイム」事業246回、アニアニまある「ふれあい」事業296回 (26,739名)、その他「ふれあい」事業・カブトムシのふれあい7回(599名)、機関誌「あかつかやま」第50号～第55号発行 865部、「アニアニまある」リニューアルオープン(4,774名)、おいでん祭、生き物展示 他						

○環境教育施設・環境学習の機会の充実

【環境学習推進事業】

環境部環境課

予算科目	一般会計 4-1-10-060			全体実施期間		—	
事業の概要	地球環境問題や河川・森林保全等をテーマにした講座の実施						
目標指標	過去値 (H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
環境講座の年間参加者数(環境課実施分)	679人		740人	790人	840人	890人	940人
<実績>			690人	1,099人	1,129人	1,169人	1,211人
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
子ども環境学習体験講座	回	3	3	3	3	3	—
<実績>	回	3	3	3	3	2	—
酸性雨学習会	回	1	1	1	1	1	—
<実績>	回	1	1	1	1	1	—
環境出前講座	回	3	3	5	5	5	—
<実績>	回	3	18	18	19	19	—
水生生物調査支援	式	1	1	1	1	1	—
<実績>	式	1	1	1	1	1	—
22年度成果・課題	参加者数の内訳： 子ども環境学習講座(69名)、酸性雨学習会(32名)、出前講座(子ども247名・一般56名)、水生生物調査支援(70名)、里山の自然環境調査(42名)、エコクッキング(40名)、エコドライブ講習会(134名) 講座とは別に、COP10関連事業として、10月16日・17日に愛・地球博記念公園でイベントを実施するとともに、10月23日に「環境フェスタ」を開催した。						
23年度成果・課題	参加者数の内訳： 子ども環境学習講座(66名)、酸性雨学習会(34名)、出前講座(児童クラブ316名・小学校226名・一般29名)、水生生物調査支援(60名)、里山の自然環境調査(37名)、エコクッキング(30名)、エコドライブ講習会(118名)、エコキャンドル(96名)、クールアース・デー(87名)						
24年度成果・課題	参加者数の内訳： 子ども環境学習講座(71名)、酸性雨学習会(34名)、出前講座(児童クラブ411名・小学校17名・一般53名)、水生生物調査支援(60名)、里山の自然環境調査(42名)、エコクッキング(18名)、エコドライブ講習会(114名)、エコキャンドル(30名)、クールアース・デー(118名)、里山保全リーダー養成講座(161名)						
25年度成果・課題	参加者数の内訳： 子ども環境学習講座(71名)、酸性雨学習会(38名)、出前講座(児童クラブ373名・小学校415名・一般20名)、水生生物調査支援(60名)、里山の自然環境調査(31名)、エコクッキング(13名)、エコドライブ講習会(73名)、エコキャンドル(27名)、里山保全リーダーフォローアップ講座(17名)、里山でキノコの菌打ちをしよう(31名)						
26年度成果・課題	参加者数の内訳： 子ども環境学習講座(47名)、酸性雨学習会(20名)、出前講座(児童クラブ496名・小学校181名)、水生生物調査支援(83名)、里山の自然環境調査(35名)、エコクッキング(16名)、エコドライブ講習会(81名)、エコキャンドル(14名)、里山保全リーダー養成講座(211名)、里山でキノコの菌打ちをしよう(27名)						

【環境リーダー育成事業】再掲P. 57

【ごみ副読本作成・配布事業】

環境部清掃事業課

予算科目	一般会計 4-2-1-020			全体実施期間		平成5年度～	
事業の概要	小学4年生を対象としたごみ副読本「地球にやさしい暮らし」作成・配布						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
ごみ副読本作成・配布	式	1	1	1	1	1	—
<実績>	部	2,100	1,950	1,950	1,950	1,950	—
22年度成果・課題	小学校4年生の社会科の教材として、ごみの発生量、分別、処理方法などを説明した副読本を市内の小学校へ配布した。						
23年度成果・課題	同上						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	同上						

【クールアース・デーの普及啓発事業】再掲P.3

【エコドライブ講習会の実施】再掲P.11

【生物多様性保全事業】再掲P.19

【再生利用啓発事業】再掲P.33

【生活排水対策推進事業】再掲P.41

○ライフスタイル提案型の環境啓発

【地域エコポイント事業】※重点施策1-4

環境部環境課

予算科目	一般会計 4-1-10-060		全体実施期間		平成23年度～		
事業の概要	市内の環境活動への参加に応じた地域エコポイントを導入						
目標指標	過去値 (H21)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
エコポイント参加者数	—	—	790人	840人	890人	940人	
<実績>		0	1,072人	1,346人	656人	735人	
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
エコポイント検討・実施	式	検討	1	1	1	1	—
<実績>	式	検討	1	1	1	1	—
22年度成果・課題							
23年度成果・課題	小学生を対象に「こどもエコポイント制度」を実施した（1,285ポイント付与）。5ポイントをためると環境グッズと交換（16名）し、8ポイントでジュニアエコリーダーに認定（5名）し、環境講座への積極的参加を促した。今後は他課と協力してさらに対象メニューを増やすことを検討していく必要がある。さらに、関係各課の協力の下で政策研究グループを発足させ、全市民を対象とした地域エコポイント制度について先進地視察行うとともに、調査研究を行った。						
24年度成果・課題	小学生を対象に「こどもエコポイント制度」を実施した（3,103ポイント付与）。5ポイントをためると環境グッズと交換（228名）し、8ポイントでジュニアエコリーダーに認定（21名）し、環境講座への積極的参加を促した。また、清掃事業課や赤塚山公園と協力し対象事業を増やした。						
25年度成果・課題	小学生を対象に「こどもエコポイント制度」を実施した（929ポイント付与）。5ポイントをためると環境グッズと交換（44名）し、8ポイントでジュニアエコリーダーに認定（9名）し、環境講座への積極的参加を促した。また、清掃事業課や赤塚山公園と協力し対象事業を増やした。						
26年度成果・課題	小学生を対象に「こどもエコポイント制度」を実施した（915ポイント付与）。5ポイントをためると環境グッズと交換（29名）し、8ポイントでジュニアエコリーダーに認定（6名）し、環境講座への積極的参加を促した。また、清掃事業課や赤塚山公園と協力し対象事業を増やした。						

＜取組２６ 環境情報の収集と提供＞

○環境情報の収集と提供

【市ホームページ・広報掲載】

環境部環境課

予算科目	一般会計		全体実施期間				—
事業の概要	広報・市ホームページにより環境情報を提供						
目標指標	過去値(H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
市ホームページ 環境部局アクセス数	5,030件/年		5,700件	6,400件	7,100件	7,800件	8,500件
<実績>			—	※4,418件	※4,171件	※5,275件	※8,573件
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
広報・ホームページ掲載	式	1	1	1	1	1	—
<実績>	式	1	1	1	1	1	—
22年度成果・課題	各種講座(夏休み子ども環境体験講座・エコドライブ講習会等)の実績報告や環境基本計画実施計画等をホームページ掲載した。また、6/1号広報に生物多様性についての特集を掲載するなどして、情報提供や意識啓発に努めた。						
23年度成果・課題	各種講座(夏休み子ども環境体験講座・エコドライブ講習会等)の実績報告や環境基本計画実施計画等をホームページ掲載した。また、7/1号広報に夏の節電対策についての特集を掲載するなど、情報提供や意識啓発に努めた。※算出期間(8/9-3/31)環境1,876件、清掃事業2,542件。						
24年度成果・課題	各種講座(夏休み子ども環境体験講座・エコドライブ講習会等)の実績報告や環境基本計画実施計画等をホームページ掲載した。また、6月の環境月間に合わせて、6/1号広報に地球にやさしいエコライフについての特集を掲載するなど、情報提供や意識啓発に努めた。※算出期間(4-1月)環境2,136件、清掃事業2,035件						
25年度成果・課題	各種講座(夏休み子ども環境体験講座・里山の身近な生き物を探そう等)の実績報告や環境基本計画実施計画等をホームページ掲載した。また、2/1号広報に移入種についての特集を掲載するなど、情報提供や意識啓発に努めた。 ※算出期間(4-3月)環境部 750件、環境課 2,136件、清掃事業課 2,389件						
26年度成果・課題	各種講座(夏休み子ども環境体験講座・里山の身近な生き物を探そう等)の実績報告や環境基本計画(見直し版)、講座等の募集情報などを市ホームページに掲載した。また、広報紙でも、緑のカーテンコンテストやイヌの予防接種、講座等の募集情報を掲載し、情報提供や意識啓発に努めた。 ※算出期間(4-3月)環境部 915件、環境課 3,875件、清掃事業課 3,783件						

○新たな環境問題の情報収集と提供

＜取組２７ 自発的活動の促進＞

○人と人とのネットワークの推進

【環境リーダー育成事業】

環境部環境課

予算科目	一般会計 4-1-10-060			全体実施期間		平成24年度～	
事業の概要	子どもエコリーダーやインタープリター等の育成						
目標指標	過去値 (H21)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
子どもエコリーダー	—		—	—	100人	100人	100人
＜実 績＞			—	5人	21人	9人	6人
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
子どもエコリーダー育成	式	—	—	1	1	1	—
＜実 績＞	式	検討	1	1	1	1	—
インタープリター事業	式	—	—	1	1	1	—
＜実 績(参加者数)＞	人	—	—	1	17	191	—
22年度成果・課題	平成23年度予算計上に向けて、子どもエコリーダー育成について検討した。						
23年度成果・課題	環境課主催イベントを対象にジュニアエコリーダーの育成を図った（5名認定）。今後は、対象事業を関係各課に拡大して目標指標を達成したい。						
24年度成果・課題	対象事業を環境課主催イベント以外にも拡大し、ジュニアエコリーダーの育成を図った（21名認定）。インタープリター事業として全10回の里山保全リーダー養成講座を行った。						
25年度成果・課題	対象事業を環境課主催イベント以外にも拡大し、ジュニアエコリーダーの育成を図った（9名認定）。インタープリター事業として全2回の里山保全リーダーフォローアップ講座を行った。						
26年度成果・課題	対象事業を環境課主催イベント以外にも拡大し、ジュニアエコリーダーの育成を図った（6名認定）。インタープリター事業として全7回の里山保全リーダー養成講座を行った。						

【アダプトプログラム事業】再掲P.52

○NPO・ボランティア活動の支援

【市民活動推進事業】

市民部市民協働国際課

予算科目	一般会計 2-1-24-020			全体実施期間		平成14年度～	
事業の概要	市民活動推進のための支援						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
市民活動体験型講座	講座	1	1	1	1	1	—
＜実 績＞	講座	1	1	1	1	1	—
情報サイトの運営	式	1	1	1	1	1	—
＜実 績(アクセス数)＞	件	31,074	21,882	20,078	19,329	22,754	—
NPO法人運営支援事業	式	1	1	1	1	1	—
＜実 績(支援団体数)＞	団体	1	1	1	1	4	—
コラボレーション支援事業	団体	2	2	1	—	—	—
＜実 績＞	団体	2	1	1	—	—	—
22年度成果・課題	成果としては、市民活動参加促進を図るため、気軽に参加できる講座の企画・運営を市民活動団体より1事業公募し、実施した。また、NPO等が活動情報を収集、提供できる「東三河市民活動情報サイトどすごいネット」を東三河5市で運営した。さらに、市内のボランティア・市民活動団体が企業と協働で行うまちづくり事業に対し、事業費の一部を助成した。 今後の課題として、①市民のボランティア・市民活動への関心や参加意識の向上により登録団体は増えてきているが、組織的・資金的に脆弱な団体が多いので支援が必要。②団体会員の高齢化が顕著であり、若年層のボランティア・市民活動への参加者が少なく、若年層のボランティア・市民活動への関心を高めることが必要。③ボランティア・市民活動の情報や気軽に参加できる機会の提供が必要—などがある。						
23年度成果・課題	同上						
24年度成果・課題	成果としては、同上。 今後の課題として、①市民のボランティア・市民活動への関心や参加意識の向上により登録団体は増えてきているが、組織的・資金的に脆弱な団体が多いので引き続き支援が必要。②情報サイトのアクセス数が減少傾向にあるので、積極的にPR等をして利用者を増やすことが必要。						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	同上						

【市民活動総合補償保険事業】

市民部市民協働国際課

予算科目	一般会計 2-1-24-020			全体実施期間		平成17年度～	
事業の概要	市民活動団体や町内会の活動のための傷害・損害賠償保険の加入費						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
市民活動総合補償保険	式	1	1	1	1	1	—
<実績（補償件数）>	件	39	48	64	43	50	—
22年度成果・課題	市民が安心して市民活動に参加できるよう、市が保険料を負担し、活動中に事故が起きた場合に補償金を給付する「市民活動総合補償制度」を実施した。課題としては、保険事業のPR不足を解消するため、広く周知を図る必要がある。また、補償対象事業について、市と保険会社との見解に相違が見られたため、協議していく必要がある。						
23年度成果・課題	同上						
24年度成果・課題	引き続き「市民活動総合補償制度」を実施した。課題としては、市民活動の多様化により補償対象事業や補償額について検討していく必要がある。						
25年度成果・課題	同上						
26年度成果・課題	同上						

【市民協働のまちづくり事業】

市民部市民協働国際課

予算科目	一般会計 2-1-24-020			全体実施期間		平成19年度～平成23年度	
事業の概要	市民活動団体が地縁組織、企業等が協働して行う事業に対する支援						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
交付金交付対象事業	件	2	2	—	—	—	—
<実績>	件	2	2	—	—	—	—
22年度成果・課題	市内のボランティア・市民活動団体が地縁組織や学校、企業などと協働して行うまちづくりに対し事業費の一部を助成し、協働によるまちづくりを支援した。						
23年度成果・課題	同上						
24年度成果・課題	平成23年度末廃止。						
25年度成果・課題							
26年度成果・課題							

【ボランティア・ユニフォーム等助成事業】

市民部市民協働国際課

予算科目	一般会計 2-1-24-020			全体実施期間		平成21年度～平成25年度	
事業の概要	ユニホームを必要とするボランティア団体等への助成						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
ユニフォーム等の助成	式	1	1	1	1	－	－
<実績>	件	18	18	19	22	－	－
22年度成果・課題	市内のボランティア・市民活動団体が活動する際に必要となるユニフォーム等の購入に対する補助を実施した。						
23年度成果・課題	同上						
24年度成果・課題	同上						
25年度成果・課題	同上。平成25年度末廃止。						
26年度成果・課題							

【ボランティア・市民活動センター事業委託】				市民部市民協働国際課			
予算科目	一般会計 2-1-24-020		全体実施期間		平成14年度～		
事業の概要	ボランティア・市民活動センターの整備、情報収集や提供・相談機能の充実						
計画事業量	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	全体計画
センター事業委託	式	1	1	1	1	1	－
<実績>	千円	4,314	6,973	20,501	20,053	21,796	－
22年度成果・課題	市民と行政の協働のまちづくりを進めるため、ボランティア・市民活動の情報収集・提供、活動場所の提供、意識啓発・普及、人材育成・交流・相談等の事業を社会福祉法人豊川市社会福祉協議会へ委託し、実施した。今後の課題としては、センター運営については専門的な知識が必要であり、そうした人材や団体を育成していくことが重要である。						
23年度成果・課題	ボランティア・市民活動の情報収集・提供、活動場所の提供、意識啓発・普及、人材育成・交流・相談等の運営事業を特定非営利活動法人穂の国まちづくりネットワークへ、施設管理を社会福祉法人豊川市社会福祉協議会へ委託し、実施した。今後の課題としては、センター運営については専門的な知識が必要であり、そうした人材や団体を育成していくことが重要である。						
24年度成果・課題	合併により登録団体数が増加し、会議室や駐車場が手狭な状況になったため、活動の拠点であるボランティア・市民活動センターの機能を強化することを目的に、ウィズ豊川に加えプリオに「とよかわボランティア・市民活動センタープリオ」を新たに開設し、ボランティア・市民活動の拠点として「情報収集及び提供」「相談業務及び連絡調整」「人材育成及び相互交流」「意識の啓発」「活動場所及び資機材の提供」を行い、豊川市社会福祉会館ウィズ豊川の「とよかわボランティア・市民活動センターウィズ」は、「活動場所及び資機材の提供」を行い、それぞれ、特定非営利活動法人穂の国まちづくりネットワークと社会福祉法人豊川市社会福祉協議会を指定管理者に指定し、管理運営を行った。今後は、両施設の連携の強化や使いやすい施設への検討が必要である。						
25年度成果・課題	とよかわボランティア・市民活動センタープリオでは、ボランティア・市民活動の拠点として「情報収集及び提供」「相談業務及び連絡調整」「人材育成及び相互交流」「意識の啓発」「活動場所及び資機材の提供」を行い、とよかわボランティア・市民活動センターウィズでは、「活動場所及び資機材の提供」を行い、それぞれ、特定非営利活動法人穂の国まちづくりネットワークと社会福祉法人豊川市社会福祉協議会を指定管理者に指定し、管理運営を行った。今後は、両施設の連携の強化や使いやすい施設への検討が必要である。						
26年度成果・課題	同上						

○環境に配慮した自主的な取組

【市役所地球温暖化対策実行計画推進事業】再掲P. 1

○環境に配慮した事業活動の啓発